

修理・お取り扱いのご相談は
まずお求めの取付店・販売店へ

取付店・販売店 〒

電話 —

転居や贈答品などでお求めの取付店・販売店へご相談できない場合は、商品名・品番をご確認のうえ、下記 TOTO 窓口までお問い合わせください。

お客様専用窓口

修理を依頼する前に「故障かな?と思ったら」(P.54~56)をご確認ください。
お問い合わせの際は、商品名・品番をご連絡ください。



商品のお問い合わせは

ご質問に自動でお答えします! (24時間受付)
TOTO(株) ウォシュレット専用チャットへ
チャットボット <https://jp.toto.com/support>



TOTO(株) お客様相談室へ
TEL ☎ 0120-03-1010
FAX ☎ 0120-09-1010

受付時間: 9:00~17:00 (夏期休暇・年末年始を除く)



修理のご用命は

安心・信頼の
TOTO メンテナンス(株) 修理受付センターへ
ホームページ <https://www.tom-net.jp>

TEL ☎ 0120-1010-05
FAX ☎ 0120-1010-02

受付: 年中無休
受付時間: 8:00~19:00
訪問修理: 年中無休 (一部地域を除く)
営業時間: 9:00~18:00



交換部品・別売品
ご購入は

TOTO メンテナンス(株) TOTO パーツセンターへ
TEL ☎ 0120-8282-55
FAX ☎ 0120-8272-99

受付時間: 平日 9:00~18:00 土・日・祝日 9:00~17:00
(夏期休暇・年末年始を除く)

※インターネットでの部品購入は TOTO パーツショップへ(24時間受付)
<https://tom-parts.jp.toto.com>



お客様からお預かりした個人情報は、関連法令および社内諸規定に基づき慎重かつ適切に取り扱います。
詳細は TOTO ホームページをご覧ください。

愛情点検

長年ご使用のウォシュレットの点検を!



こんな症状は
ありませんか?

- 水漏れする (配管接続部、ウォシュレット本体)
- ウォシュレット本体や便座にひびや割れが入っている
- 異常な音やこげ臭いにおいがする
- 電源コードを動かすと電源が切れたり入ったりする
- 電源プラグや電源コードが異常に熱い
- ウォシュレット本体や操作部が異常に熱い
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

このような症状のときは、コンセントから電源プラグを抜き、止水栓を開けて、必ず TOTO メンテナンス(株) 修理受付センターにご相談ください。

※異常・故障状態のままのご使用は、火災、感電、室内浸水の原因になります。

こちらからはご愛用者登録はできません。
(メーカー管理用です。)



この印刷用紙下データは、重座障がい者多数雇用企業 サンアクト TOTO(株)で作成しました。
「TOTOグループ」は障がい者雇用の推進に努力しております。

TOTO 株式会社

TOTO ホームページ <https://jp.toto.com>

2023.10.17
D07C86R

TOTO

取扱説明書 取り付け説明付

有料で延長保証できます。

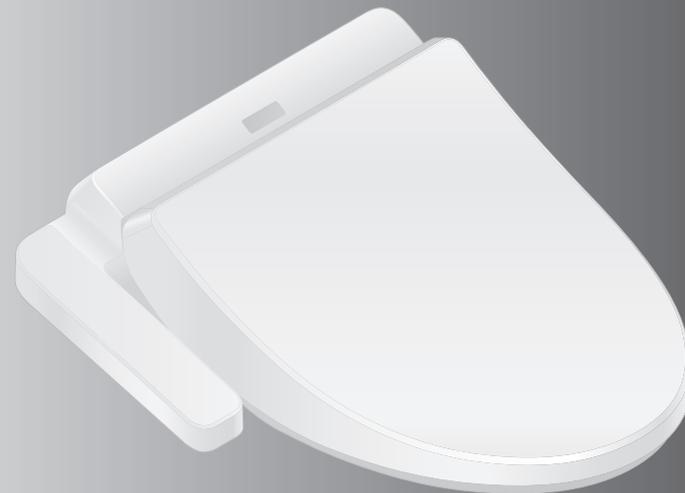
57 ページ

ウォシュレット® K

「ウォシュレット」は TOTO 株式会社の登録商標です。

washLët®

TCF8CK68型



- このたびは、本製品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書は大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書に、取付店名、取付日などが記入されていることを必ずお確かめください。

ご使用の製品名・品番を
ご確認ください。

製品名・品番を
便ふた裏に記載しています。

製品名
品番



あなたの製品で使える機能は？

機能		製品名 (機種)	K	参照ページ
		品番	TCF8CK68型	
基本機能	洗う	おしり洗浄	●	33
		ビデ洗浄	●	
	洗いかたを変える	洗浄位置調節	●	
		水勢調節	●	
		ムーブ洗浄	●	
温度を変える	温度調節	●	34・35	
せいかつ機能	においをとる	脱臭	●	32
	便利機能	便座を温める	暖房便座	●
節電する		おまかせ節電	●	36・37
		タイマー節電	●	
お手入れする		ウォシュレット本体ワンタッチ着脱	●	46
		便ふた着脱	●	47
		ノズルそうじ	●	48
		抗菌	●	59



自動でせいかつ機能がはたらきます。(詳しくは P.32)

	座る	立ち上がる
便器内のにおいをとる	脱臭	オートパワー脱臭

もくじ

安全上のご注意	4	はじめに
使用上のお願い	7	
各部のなまえ	8	
取り付け前のご注意	10	取り付け
取り付けの流れ	10	
取り付け前のご確認	11	
1. 水道の元栓を閉める	14	
2. 便座の取りはずし	14	
3. 既設の分岐金具の取りはずし	16	
4. ウォシュレット本体の取り付け	20	
5. 分岐金具の接続	24	
6. 電源 (アース線) の接続	29	
7. 試運転をする	30	
基本の使いかた	32	使いかた
●オート機能のはたらき	32	
脱臭		
●ウォシュレット本体操作部を使う	33	
温度調節 (便座/温水)	34	
節電機能	36	
いろいろな使いかた	40	
●設定一覧	40	
●オート機能	43	
お手入れ	44	お手入れ
●電源プラグ	44	
●ウォシュレット本体	45	
●本体のすき間	46	
●脱臭フィルター	48	
●ノズル	48	
ノズルそうじ		
●給水フィルター付水抜栓	49	
こんなときは	50	必要なとき
●断水で水が流せないとき	50	
●脱臭が弱くなったとき	51	
●凍結予防をするとき	52	
●長期間使わないとき	53	
故障かな?と思ったら	54	
アフターサービス	57	
重大事故防止のお願い	58	
仕様	59	
交換部品/別売品	60	
製品の安全使用/ご愛用者登録	61	
定期的な点検	62	

安全上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、正しくお使いください。

表示と意味



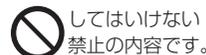
警告

死亡や重傷を負う可能性がある内容です。

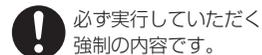


注意

傷害や物的損害が発生する可能性がある内容です。



してはいけない
禁止の内容です。



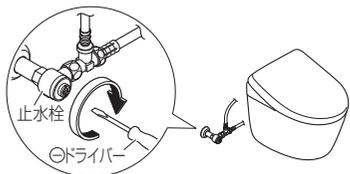
必ず実行していただく
強制の内容です。

警告

故障したままで
使いつづけない！

故障したときは…

- 電源プラグを抜き、
止水栓を閉める



- 故障とは
配管や製品からの水漏れ、ひび割れ、異音や異臭、
発煙、製品が異常に熱い、便座クッションのはずれ、
便器の詰まりなど
- 故障したまま使いつづけると
火災、感電、発熱、ショート、けがや室内浸水の原
因になります。

設置するときは…

- 車輦や船舶などの移動体に設置しない
(火災、感電、ショート、故障や、便座、
便ふた、ウォシュレット本体などがはず
れて落下することによるけがの原因)

お使いのときは…

- 飲用可能な水以外は使わない
(故障や皮膚の炎症などの原因)

お使いのときや

お手入れ、点検のときは…

- ウォシュレット本体や電源プラグ
に、水やお湯、洗剤をかけない
(火災や感電、発熱、ショート、製品の
割れによるけがや室内浸水の原因)

お手入れや点検のときは…

- 逆流防止装置は、定期点検する
(水が逆流し、人体に影響をおよぼす原因)
⇒アフターサービス「定期点検のすすめ」(P.57)

火災、感電、 発熱、ショートを 防ぐために

電源コード、電源プラグなどは…

- ぬれた手で抜き差ししない
- 雷が発生しているときは、触れない
- 破損するようなことをしない
 - ・引っ張る、ねじる、無理に曲げる、
傷をつける、加工する、
加熱する、重いものを
載せる、束ねる、挟み
込む、など
- ガタついているコンセントは使わない
- コンセントや配線器具の
定格を超えて使わない
 - ・たこ足配線など
- 指定の電源(交流 100V)以外で
使わない
- 給水ホースと電源プラグ・コンセ
ントを接触させない
(結露などによる、火災や感電の原因)
- 電源プラグの刃などについたほこり
は、定期的に取り除く
 - ・プラグを抜き、かわい
いた布でふいてください。
- 根元まで差し込む
- 抜くときは、電源プラグ
本体を持つ
 - ・コードを引っ張ると、
プラグやコードが傷み
ます。
- コンセントに差し込
む際、電源プラグに
アース線を挟み込ま
ないようにする
(ショートの原因)

設置するときは…

- 浴室など、湿気が多い場所に設置し
ない
- アース(D種接地)工事は、必ずする
(故障・漏電時の感電の原因)
・工事は、お近くの工事店に依頼してください。

お使いのときや、 お手入れ、点検のときは…

- たばこなど、火気類を近づけない
- 分解や修理、改造はしない
- お手入れや点検のときは…
(ウォシュレット本体を取りはずすときなど)
- 必ず電源プラグをコンセントから抜く
(感電や誤作動による故障の原因)

身体への影響を 防ぐために

お使いのときは…

- 便座に長時間座らない
(低温やけどの原因)
 - ・低温やけどを防ぐために、次のよう
なかたが使うときは、周囲のかたが、
便座の温度を「切」にしてください。
[自分で温度調節できないかた]
お子様、お年寄りなど、病気のかた、
身体の不自由なかた
[眠り込むおそれのあるかた]
かぜ薬など眠気を誘う薬の服用、深
酒、疲労の激しいかたなど
- 化学療法を受けているかた、免疫不
全症のかたなど、極度に免疫力が低
下して医師の治療を受けているかた
は、ご使用に際し医師に相談する
・身体への著しい障がいやまねくおそ
れがあります。

安全上のご注意 (つづき)

⚠️ 注意

水漏れや室内浸水を防ぐために

■取り付けするときは…

- 取り付けは「取り付け」の説明ページに従って確実に行う
(正しく取り付けないと水漏れ・感電の原因)

■水漏れが発生したときは…

- 止水栓を閉める

■お使いのときは…

- 給水ホースを曲げない、つぶさない、カッターなどで傷つけない
- 使ったあとは、必ず水を流す
(便器が詰まることにより、汚水があふれて室内浸水したり、便器洗浄不良になる原因)
- 便器が詰まったときは、電源プラグを抜き、詰まりをとる
 - ・市販の詰まり除去用の器具 (商品名: ラバーカップなど) を使ってください。
- 便器やタンク、給水管や止水栓の結露は、かわいた布でふき取る
(結露水が、床にシミを作ったり、腐らせたりするおそれ)
 - ・トイレの換気を行うと、結露しにくくなります。

■お手入れのときは…

- 止水栓や元栓を開けたまま、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない
(水が噴き出す原因)
- 給水フィルター付水抜栓を取りはずした場合は、確実に締める

■外気温が 0℃以下になるときは…

- 凍結による破損の予防をする
(ウォシュレット本体内部や給水配管が凍結すると、内部の部品が破損し、水漏れの原因)
 - ・水抜きを行ってください。
 - ・暖房するなどしてトイレを暖めてください。

けがを防ぐために

■お使いのときは…

- 破損部はさわらない
- 便座・便ふたを持って製品を持ち上げない
(ウォシュレット本体がはずれて落下するおそれ)
- ウォシュレット本体がガタついた状態で使用しない
(ウォシュレット本体がはずれて落下するおそれ)
- 座る動作に障がいのある方がご使用になる場合は、便座の固定部を専用部品に取り替える (有料)
 - ⇒ TOTO メンテナンス (株) 修理受付センターへ
- ウォシュレット本体は、ベースプレートに「カチッ」と音がするまで確実に押し込む
 - ・軽く手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。
(ウォシュレット本体がはずれて落下するおそれ)

次のことにもご注意ください

■お使いのときは…

- 強い力や衝撃を与えない、便座・便ふたやウォシュレット本体の上に乗らない、重いものを載せない
(割れたり、ウォシュレット本体がはずれて落下することによるけがの原因。製品が破損して、けがや室内浸水の原因)

■お手入れのときは…

- プラスチック部分 (ウォシュレット本体など) や給水ホースは、うすめた台所用中性洗剤を使う
 - ・トイレ用や住宅用洗剤、ベンジン、シンナー、クレンザー、ナイロンたわしなどは使わない
(故障やプラスチックを傷め、割れてけがや、給水ホースが傷むと水漏れの原因)

■長期間使わないときは…

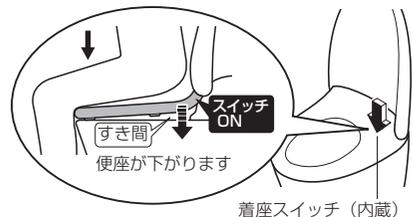
- 止水栓や元栓を開けて水を抜き、安全のため電源プラグを抜く
 - ・再使用時は、一度通水してから使ってください。
(火災や発熱、故障や腐敗した水による皮膚の炎症の原因)

使用上のお願い

■誤作動などを防ぐために

＜着座スイッチについて＞

- 便座に座ると着座スイッチが入り、各機能が使えます。
(着座スイッチが入ると「カチッ」という音がします。)



- 便座に深く腰かけてください。
 - ・便座に浅く座ると着座スイッチが入らない場合があります。



お知らせ

- ・体重の軽いお子様が使用される場合は、着座スイッチが入りにくい場合があります。
- ・便座が上下する構造のため、便座クッションと便器の間にすき間を設けています。

■正しくお使いいただくためのご注意

- 長時間の洗浄や洗すぎに注意してください。また、局部内は洗わないでください。
※常在菌を洗い流してしまい、体内の菌バランスが崩れる可能性があります。
- 習慣的に便意を促すためには使用しないでください。また、洗浄しながら故意に排便しないでください。
- 局部に痛みや炎症などがあるときは、使用しないでください。
- 局部の治療・医療行為を受けている方のご使用については、医師の指示を守ってください。

■傷つきや破損を防ぐために

- ウォシュレット本体などプラスチック部分は、水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふく



- 便ふたに寄りかからない

■誤作動や故障を防ぐために

- 落雷の可能性あるときは、電源プラグを抜いておく
- 便座・便ふたカバーは取り付けできません。
(着座スイッチが正常に検知しなくなる原因)

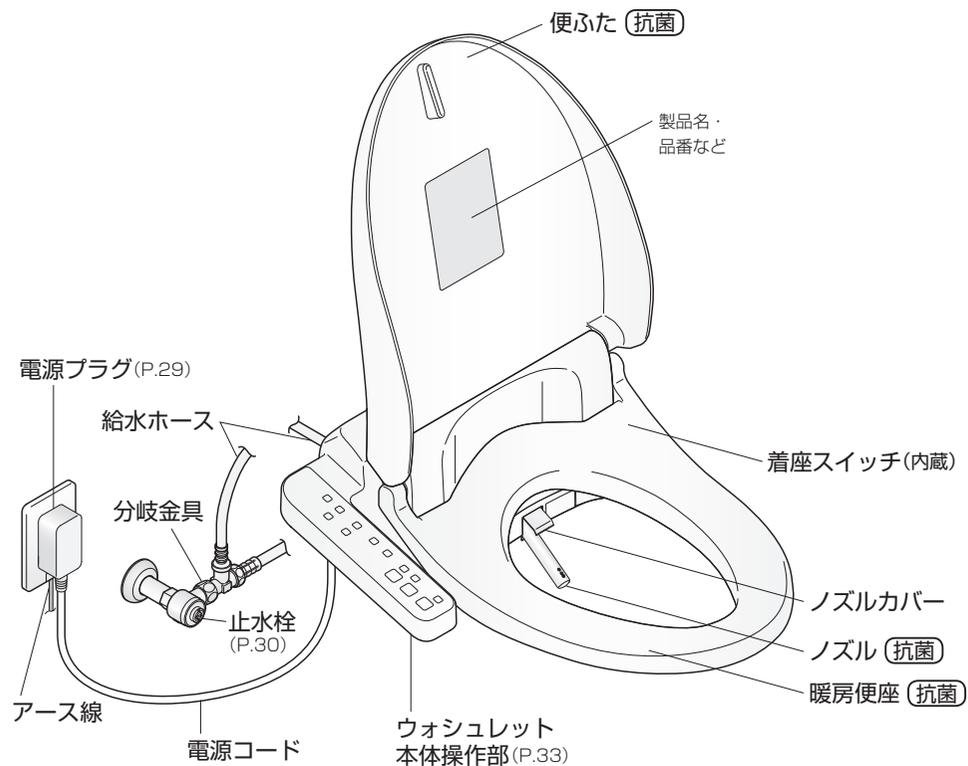


- トイレ室内に冷暖房器具を設置するときは、ウォシュレット本体に冷暖房の風や熱が直接当たらないようにしてください。
(安全装置が誤作動する原因)
- ウォシュレット本体や便座、ノズルに小便をかけない
(故障や変色の原因)
- ウォシュレット本体操作部の操作面に強い力を加えない
- トイレ用洗剤で便器を掃除するときは、3分以内に洗い流し、便座・便ふたは開けたままにしておく
(洗剤の気化ガスがウォシュレット本体内に入ることによる、故障の原因)
 - ・便器に残った洗剤はふき取ってください。
- 便ふたをはずしたまま使用しない
 - ・便ふたを取りはずしてご使用になる場合は、別途スパーサーが必要です。
TOTO メンテナンス (株) 修理受付センターへご連絡ください。(裏表紙)
- 直射日光を当てない
(変色や暖房便座の温度ムラ、ウォシュレット本体操作部での作動不良、温度変化によるウォシュレット本体の誤作動の原因)
- ラジオなどは、ウォシュレット本体から離して使う
(ラジオに雑音が入る原因)
- 幼児用補助便座、やわらか補高便座などは、使用後取りはずす
(取り付けたままだと、一部の機能が使えない原因)
- 便座・便ふたの上にものを置かない、手で押さえない
(着座スイッチが入り、ウォシュレット本体操作部のボタンに触れたときノズルから温水が出て、床などをぬらす原因)

水まわり用車いすをご使用の方へ
設定の変更が必要です。

⇒ お問い合わせは TOTO (株) お客様相談室へ

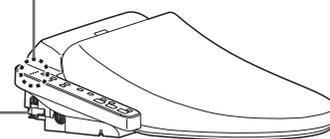
各部のなまえ



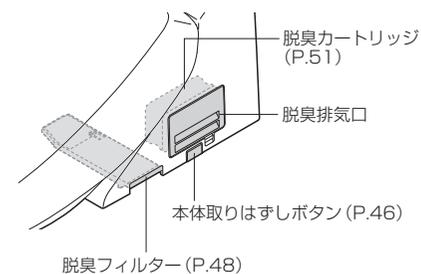
表示ランプ

- 運転ランプ — ■ ㏻
- 便座ランプ — ■ ㊦
- 節電ランプ — ■ ㊦
- 温水ランプ — ■ ㊦

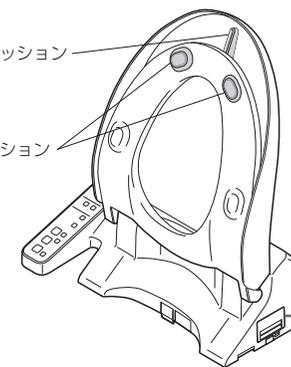
<図はランプがすべて点灯しているとき>



ウオシュレット本体右側面

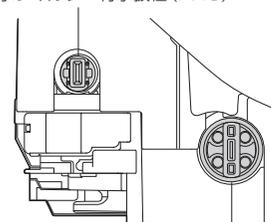


- 便ふたクッション
- 便座クッション



ウオシュレット本体左側面

給水フィルター付水抜栓 (P.49)



水抜きプラグ (P.53)

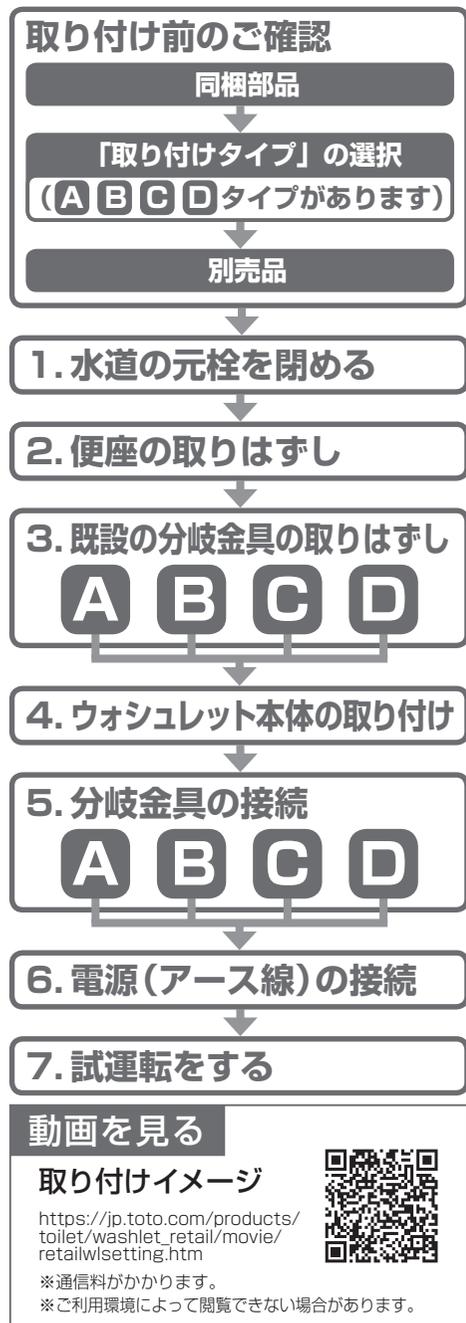
取り付け前のご注意 取り付けの流れ

「取り付け」の説明ページをよくお読みいただき、手順に従って正しく取り付けてください。
安全上のご注意、使用上のお願い（P.4～7）を必ずお守りください。

すでにベースプレートが付いている製品を取り替える場合でも必ず同梱のベースプレートに取り替えてください。
※製品が取り付けられない、または作動しない原因になります。

1. 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終わってから行ってください。
2. 便器に取り付ける前に、通電しないでください。故障の原因になります。
3. ホース類および分岐金具の先端接続部にキズを付けないようにしてください。
4. 交流100V（50/60Hz）の埋込アースターミナル付コンセントを使用してください。（電源や定格消費電力は、ウォシュレット本体背面のラベルに記載しています。）
5. 自家発電装置などから電源を供給すると、正常に作動しない場合があります。
6. 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。
7. 給水圧力範囲は0.05MPa（流動時）～0.75MPa（静止時）です。この圧力範囲でご使用ください。
8. 給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。
9. 既存の分岐金具、パッキンを使わないでください。
10. ボルトナットで取り付けられている便座（TOTO製）を取りはずす場合、モンキーレンチなどで便座が取りはずせない場合があります。
→別売品の「便座締付工具」をお買い求めいただくこともできます。（P.15）

※ 出荷前に通水検査をしていますので、製品内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。



取り付け前のご確認

同梱部品		
<p>ベースプレート一式 ※分解しないでください。</p>	<p>印刷物</p> <p>取扱説明書 延長保証用 ご案内チラシ</p>	<p>パッキン(2枚) ※分岐金具に 付属しています。</p> <p>(取り付けタイプ により1枚しか 使用しない場合 があります)</p>
<p>保証書</p>		
準備するもの		
<p>⊕ドライバー</p>	<p>モンキーレンチ</p>	<p>メジャー</p>
<p>洗面器・ ぞうきんなど</p>		
必要に応じて準備するもの		
●電気ドリル	●ハンマー	●ドリル歯 6 (鉄工ドリルまたは コンクリートドリル)
●パイプカッター (フレキホースを使用せず既設の 給水管を切断するときに使用)		

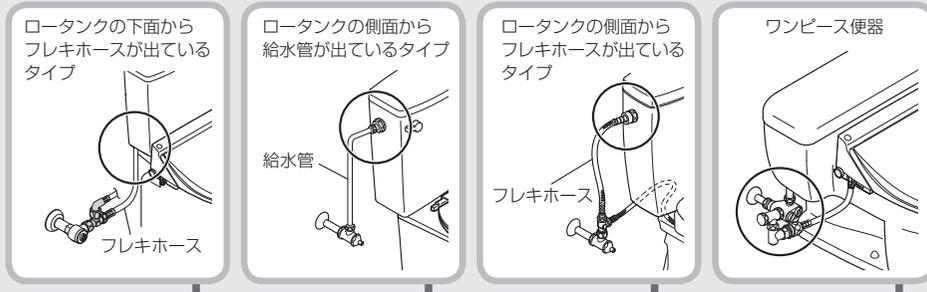
取り付け前のご確認

「取り付けタイプ」の選択

製品の違いやメーカーの違いによって、止水栓、分岐金具の形状が異なりますが、取り替えかたの手順は同じです。

Step 1

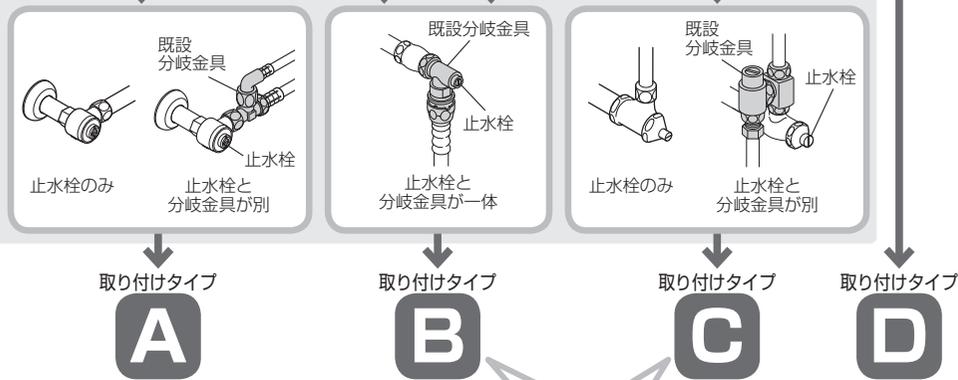
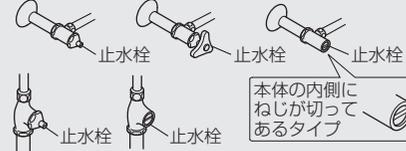
給水位置の確認



Step 2

止水栓と分岐金具の確認

止水栓の形状や向きは様々なタイプがありますが、取り替えかたの手順は同じです。
形状や向きではなく、止水栓と分岐金具の取り付け方で取り付けタイプをお選びください。



別売品のご購入が必要です。
(P.13)

取り付け前のご確認 別売品へ P.13へ

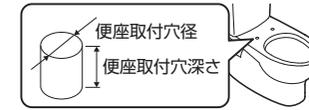
別売品

取り付けタイプや便器の種類などによって、別売品のご購入が必要な場合があります。
別売品のご購入は TOTO メンテナンス (株) TOTO パーツセンターへご連絡ください。
TEL ☎ 0120-8282-55 FAX ☎ 0120-8272-99
別売品の仕様・品番などは予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

取り付けタイプ A B C D の場合

●他社製便器に取り付ける場合、便座取付穴をご確認ください。

便座取付穴の深さと径が右表の場合は、同梱のベースプレート固定部材だけで取り付けいただけます。ウォシュレット本体のはずれ防止のための専用部材をご購入ください。



便座取付穴		品番
深さ (mm)	径	
36以下	φ 19~21	TCA312
36~80	-	-
70~110	(測定不要)	TCA310

●給水ホースの長さは適切ですか？

給水ホースの長さは約 950mm です。(P.8) 給水取り出し位置は、ウォシュレット本体が着脱できる余裕を設けてください。もし給水ホースの長さが足りない場合は、右表の中から適切な長さのホースをご購入ください。

給水ホース長さ違い一覧表	
給水ホース長さ	品番
1180mm	TCA344
1480mm	TCA345
1980mm	TCA346

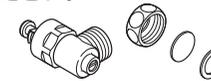
●隅付タンクの給水が向かって右側の場合は、別売品の中継アダプタ (品番: TCA58R) が必要です。

取り付けタイプ B の場合

分岐金具をご購入ください。

■分岐金具

品番 TCA358

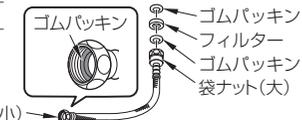


取り付けタイプ C の場合

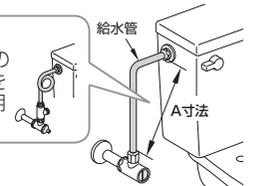
ロータンク接続用フレキホースをご購入が必要な場合があります。*1

■ロータンク接続用フレキホース

品番 TCA485



A寸法が 120~250mm の場合フレキホースをループさせてご使用ください。



*1 フレキホースが接続されている場合でも、長期間ご使用のものは、新しいロータンク接続用フレキホースへ取り替えてください。

既設の給水管を切断して使用する場合 (P.27) は、パッキンをご購入ください。

■パッキン

品番 TH93089E



給水コンセントへ接続する場合

アダプタとふさぎナットをご購入ください。



*機種によってはコンセントの位置などが異なります。

■アダプタ

品番 TH778S



■ふさぎナット

品番 TH651



寒冷地の場合

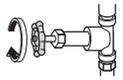
専門業者による取り付けが必要です。

お近くの販売店または TOTO メンテナンス (株) 修理受付センターへご連絡ください。→ P.57

1. 水道の元栓を閉めるへ P.14へ

1. 水道の元栓を閉める

元栓を閉めるときは、ガス給湯器や洗濯機などの使用を止めてください。

水道メーターと一体化した元栓の場合	埋込み式の元栓の場合	マンションなどの場合
メーターボックスの止水栓を閉める 	止水栓キーなどで閉める 	玄関入口横の扉の中などにあります。 

元栓を閉めた後に、近くの蛇口などで水が出ないことを確認してください。

2. 便座の取りはずし

- 止水栓を閉める 
- ロータンクの水を抜く (給水管の圧抜き) 
- 現在ご使用の便座を確認し、便座を取りはずす

普通便座・暖房便座(ウォームレット)の場合	温水洗浄便座(ウォシュレット)の場合
-----------------------	--------------------

ボルトナットで便座が取り付けられている場合

- モンキーレンチなどでナット(左右2個)をはずし、便座を取りはずす

※金属ナットがさびてゆるまないときは、市販のスプレー剤をご使用ください。

※TOTO製便座の場合
→ I. ボルトナットがはずしにくいときは (P.15)



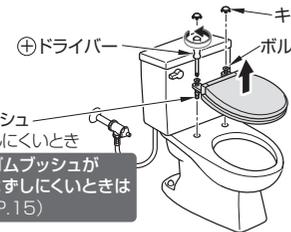
平パッキン
三角パッキン
ナット
モンキーレンチ

ゴムブッシュで便座が取り付けられている場合

- キャップをはずす
- ボルトを⊕ドライバーでゆるめてははずし、便座を取りはずす

⊕ドライバー
キャップ
ボルト

ゴムブッシュ
※はずしにくいとき
→ II. ゴムブッシュがはずしにくいときは (P.15)

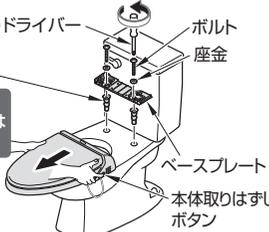


ベースプレートで便座が取り付けられている場合 (便座右側に本体取りはずしボタンがあります)

- 右側の本体取りはずしボタンを押したまま本体を手前に引く
- ベースプレートのボルトを⊕ドライバーでゆるめて取りはずす

⊕ドライバー
ボルト
座金

ゴムブッシュ
※はずしにくいとき
→ II. ゴムブッシュがはずしにくいときは (P.15)



ベースプレート
本体取りはずしボタン

ワンピース便器に便座が取り付けられている場合

- タンク下側のナット(左右2個)をゆるめて便座を取りはずす

※便器の種類によっては、タンク内にナットがあります。タンクふたをはずして、ナットをゆるめて便座を取りはずしてください。

タンクふた
取付ボルト



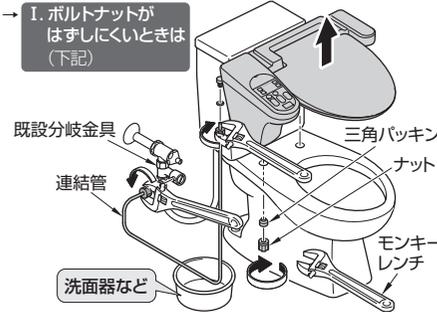
TOTO ウォシュレット(代表例を示す)

ボルトナットで取り付けられている場合

※ワンピース便器の場合も手順は同じです。

- 電源プラグを抜く
- 連結管のナットをゆるめ、取りはずす
- モンキーレンチなどでナットをはずし、ウォシュレット本体を取りはずす

※TOTO製便座の場合
→ I. ボルトナットがはずしにくいときは (下記)



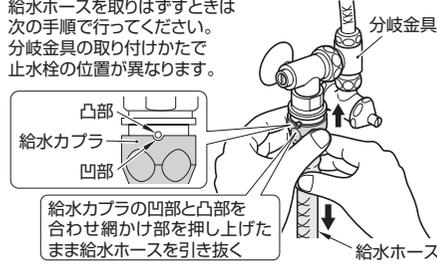
既設分岐金具
連結管
洗面器など
三角パッキン
ナット
モンキーレンチ

ベースプレートで取り付けられている場合 (ウォシュレット本体右側に本体取りはずしボタンがあります)

- 電源プラグを抜く
- ウォシュレットの給水ホースを分岐金具から取りはずす

給水ホースの取りはずし

給水ホースを取りはずすときは次の手順で行ってください。分岐金具の取り付けかたで止水栓の位置が異なります。



分岐金具
凸部
給水ホース
凹部
給水ホース
給水ホースの凹部と凸部を合わせ網かけ部を押し上げたまま給水ホースを引き抜く

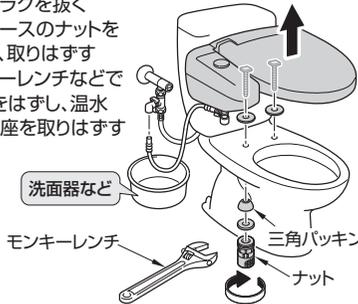
- 右側の本体取りはずしボタンを押したままウォシュレット本体を手前に引く
- ベースプレートのボルトを⊕ドライバーでゆるめて取りはずす

⊕ドライバー
ボルト
ベースプレート
便座取付穴
本体取りはずしボタン

ご注意
既設のベースプレートは製品が取り付けられない、または作動しない原因になります。必ず同梱のものを使用してください。

TOTO ウォシュレット以外(代表例を示す)

- 電源プラグを抜く
- 給水ホースのナットをゆるめ、取りはずす
- モンキーレンチなどでナットをはずし、温水洗浄便座を取りはずす

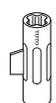


洗面器など
モンキーレンチ
三角パッキン
ナット

I. ボルトナットがはずしにくいときは

現在ご使用の便座がTOTO製の場合は、便座を取りはずす専用工具をお買い求めいただくこともできます。

●便座締付工具
品番 TCZ3Y



II. ゴムブッシュがはずしにくいときは

ゴムブッシュまたはスリーブがはずしにくいときは、ボルト・座金・ベースプレートを取り除いた後に⊕ドライバーで上から押さえて、下から取りはずしてください。

ゴムブッシュまたはスリーブ
押し出す



3. 既設の分岐金具の取りはずしへ ※取り付けタイプのご確認は P.12

取り付けタイプ **A** P.16へ

取り付けタイプ **C** P.18へ

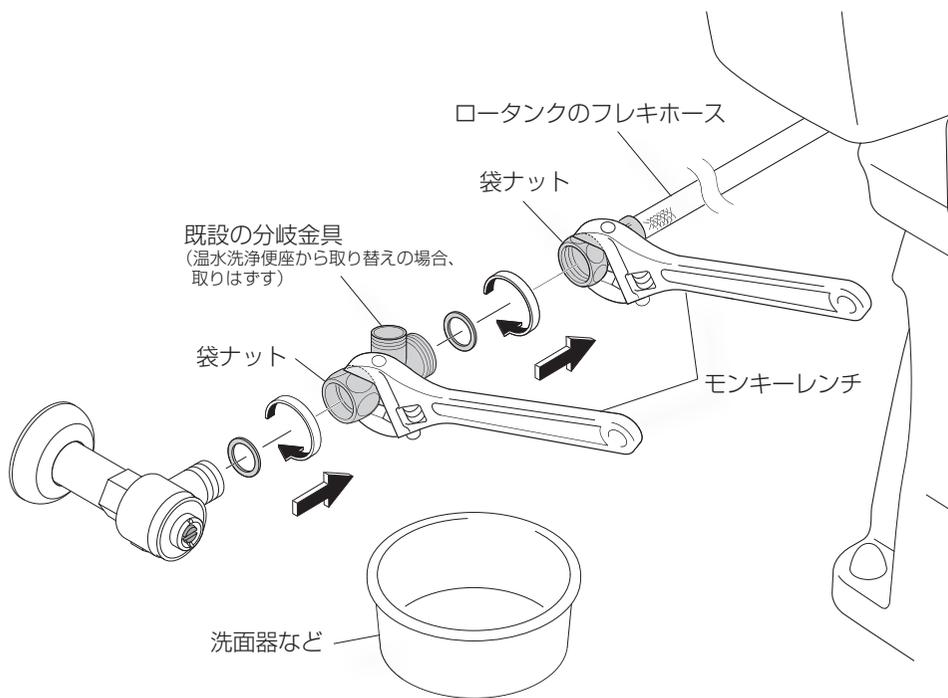
取り付けタイプ **B** P.17へ

取り付けタイプ **D** P.19へ

取り付け

3. 既設の分岐金具の取りはずし 取り付けタイプ A

1 袋ナットをゆるめ、既設の分岐金具を取りはずす

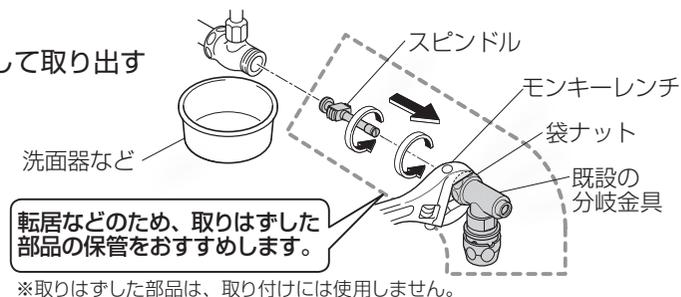


4. ウォシュレット本体の取り付けへ P.20へ

3. 既設の分岐金具の取りはずし 取り付けタイプ B

1 袋ナットをゆるめ、既設の分岐金具を取りはずす

2 スピンドルを回して取り出す

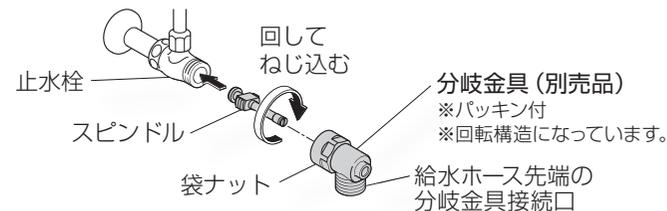


別売品の分岐金具を 取り付ける

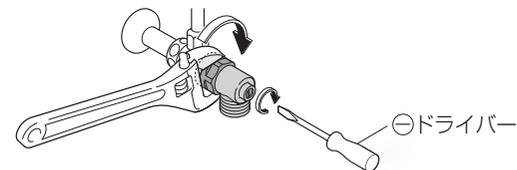
※別売品の分岐金具 (TCA358) をお求めください。(P.13)

3 別売品の分岐金具からスピンドルを引っ張って取りはずし、
止水栓の奥までねじ込む

4 スピンドルに別売品の分岐金具を通す



5 袋ナットを締め付けたあと、止水栓を閉める



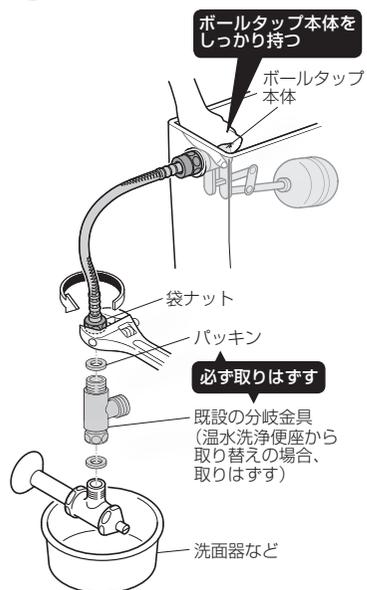
4. ウォシュレット本体の取り付けへ P.20へ

3. 既設の分岐金具の取りはずし 取り付けタイプ C

- 1** ロータンクふたを取りはずす
※手洗い付の場合は接続ホースを取りはずしてください。

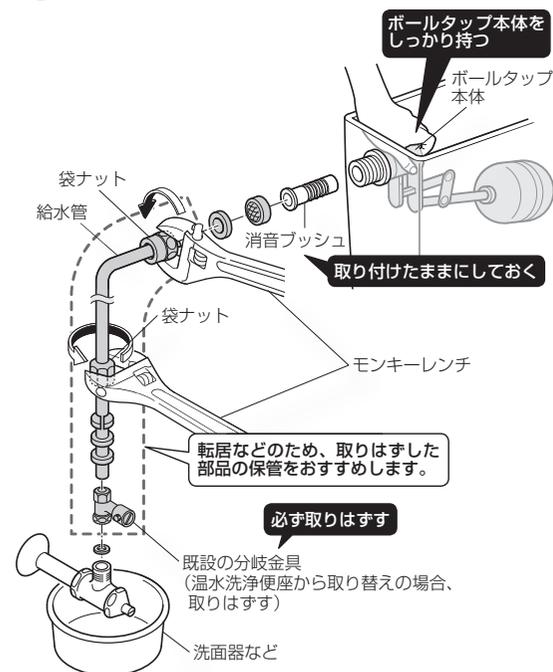
フレキシホースの場合

- 2** 袋ナットをゆるめる



給水管の場合

- 2** 上下の袋ナットをゆるめ、給水管を取りはずす



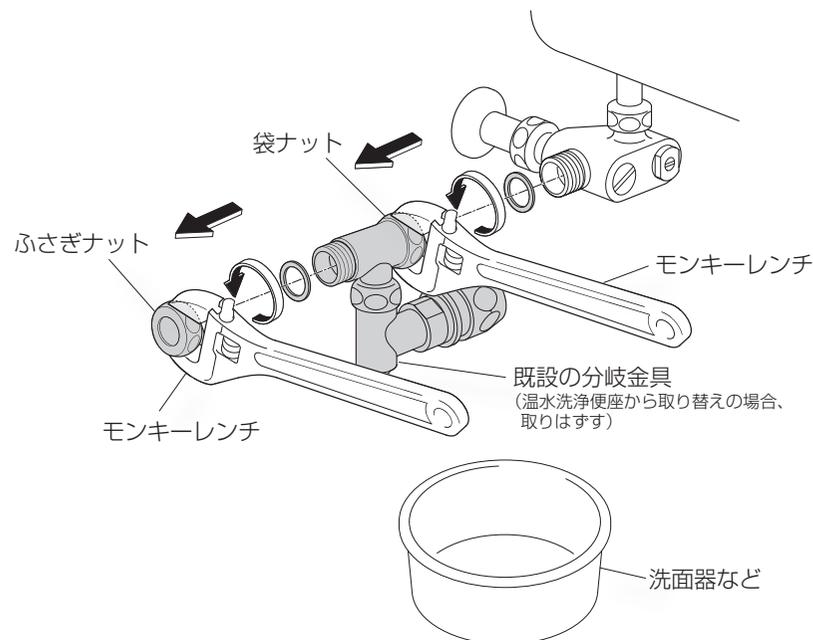
- 3** 既設の分岐金具を取りはずす
(温水洗浄便座から取り替えの場合)

- 4** ロータンクふたを取り付ける
※手洗い付の場合の接続ホースは取りはずしたままにしておいてください。

4. ウォシュレット本体の取り付けへ P.20へ

3. 既設の分岐金具の取りはずし 取り付けタイプ D

- 1** 袋ナットをゆるめ、既設の分岐金具とふさぎナットを取りはずす



4. ウォシュレット本体の取り付けへ P.20へ

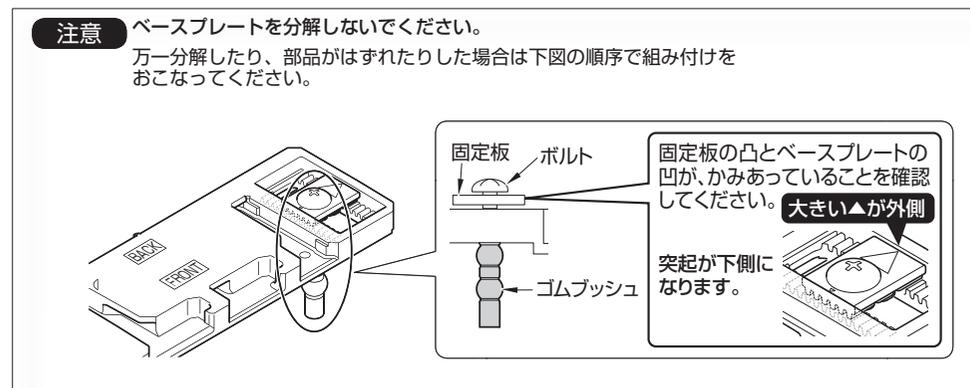
4. ウォシュレット本体の取り付け

同梱のベースプレートを 取り付ける

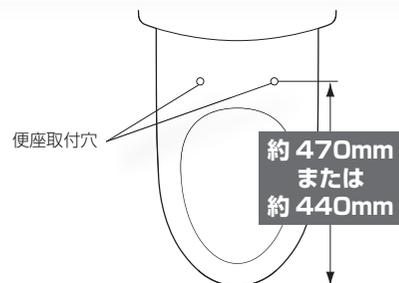
※ベースプレートは必ず同梱のものを使用してください。
製品が取り付けられない、または作動しない原因になります。

注意 ベースプレートを分解しないでください。

万一分解したり、部品がはずれたりした場合は下図の順序で組み付けをおこなってください。



1 便座取付穴から便器先端までの長さをメジャーで測定する

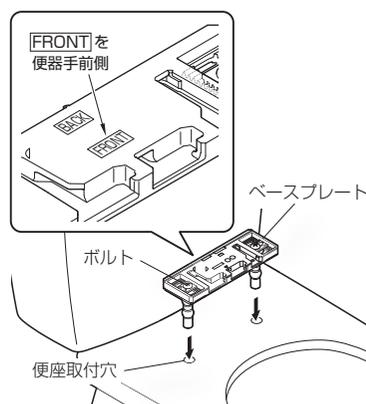


2 ベースプレートのボルト一式を便座取付穴に押し込む (左右2カ所)

ボルトが入らないときは、ゴムブッシュの表面を水でぬらすと差し込みやすくなります。

※他社製便器に取り付ける場合、便座取付穴の形状を確認してください。

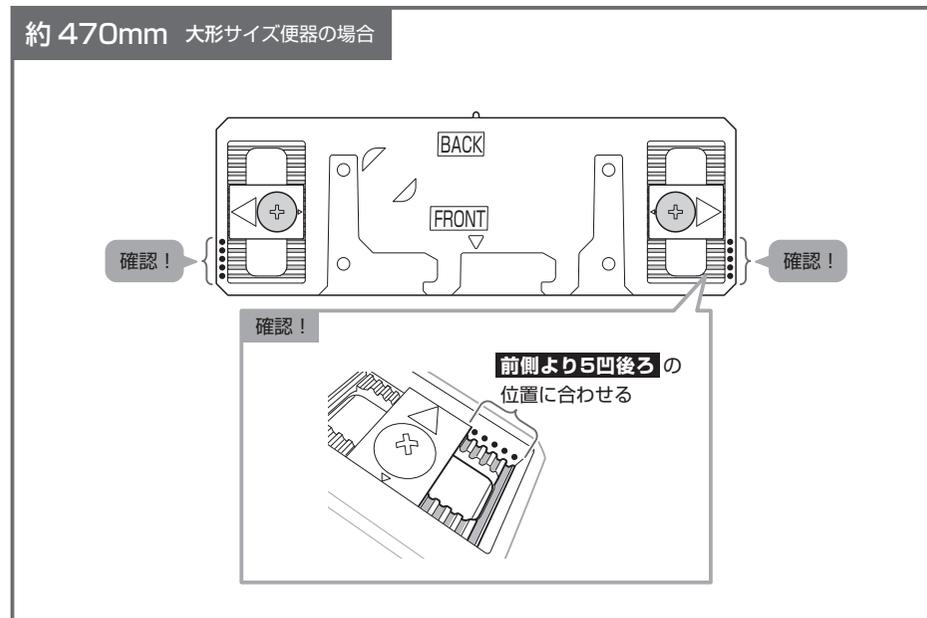
→ P.13 「取り付け前のご確認 別売品」へ



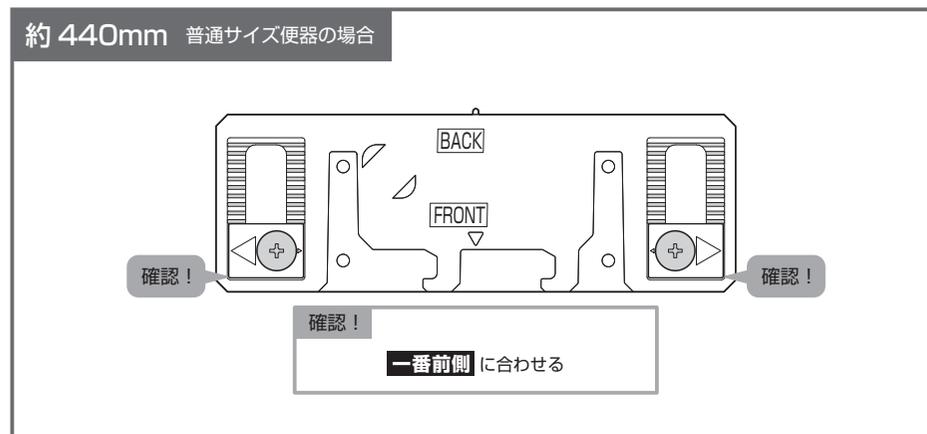
3 ベースプレートのボルト取付位置を調整する

※ボルトを⊕ドライバーでゆるめ固定板をつまんでから位置をずらしてください。

約 470mm 大形サイズ便器の場合

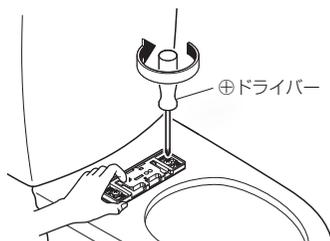


約 440mm 普通サイズ便器の場合

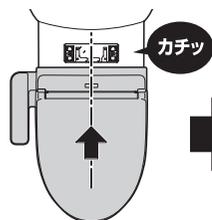


4. ウォシュレット本体の取り付け

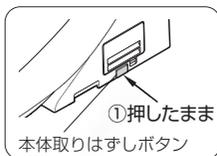
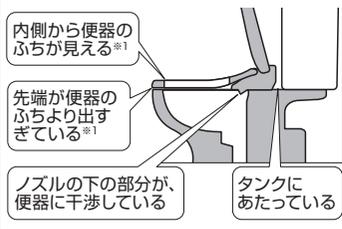
4 便器にベースプレートを仮固定する
 合わせた位置がずれないように手でベースプレートをしっかり押さえ、ベースプレートが動かなくなるまでボルトを締めてください。



5 ウォシュレット本体を取り付け、以下の確認を行い、再度取りはずす



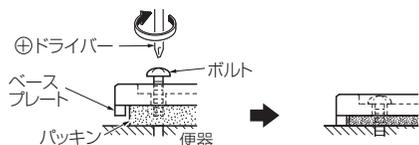
■ 次の場合は、もう一度ベースプレートのボルト取付位置を調整しなおしてください。→ P.20



ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心を合わせ「カチッ」と音がするまで押し込む
 ※まっすぐ取り付いているか確認してください。

- ウォシュレット本体を便器にセットしたときに、上下左右に多少ガタつきが発生します。これはウォシュレット本体ワンタッチ着脱のために、スライド部に設けられたすき間のためです。
- 便ふたを立てた状態で便ふたが倒れてくるときは、ウォシュレット本体を取りはずしてもう一度ベースプレートを少し前に取り付け直して、便ふたが倒れなくなるまで調整してください。
- ※ 1 普通サイズ便器に設置した場合、便座の先端が便器より多少出っ張ったり便器のふちが見えることがあります。

6 ボルトが回らなくなるまで、しっかり締め付ける
 取り付け後、ベースプレートがしっかり固定されているか確認してください。



ウォシュレット 本体を 取り付ける

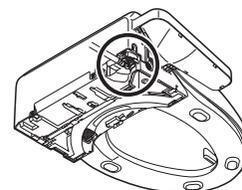
※長さ違いの給水ホースを取り付ける場合は、ウォシュレット本体を取り付ける前に行ってください。

7 ウォシュレット本体を取り付ける
 ウォシュレット本体の中心とベースプレートの中心を合わせ「カチッ」と音がするまで押し込む
 ※まっすぐ取り付いているか確認してください。



ウォシュレット本体を取り付けたあとは、手前に引っ張って製品がはずれないことを確認してください。

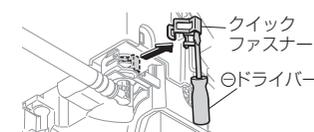
長さ違いの給水ホースを取り付ける場合



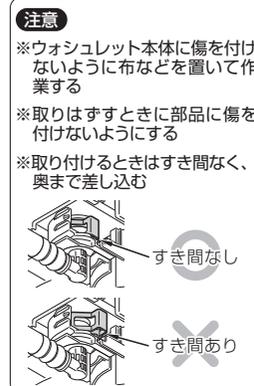
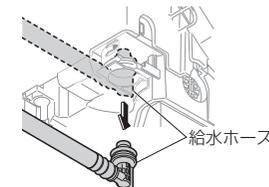
① 給水ホースを取りはずす



② クイックファスナーを取りはずす



③ 給水ホースを引き抜く



5. 分岐金具の接続へ

※取り付けタイプのご確認は P.12

取り付けタイプ **A** P.24 へ

取り付けタイプ **C** P.26 へ

取り付けタイプ **B** P.25 へ

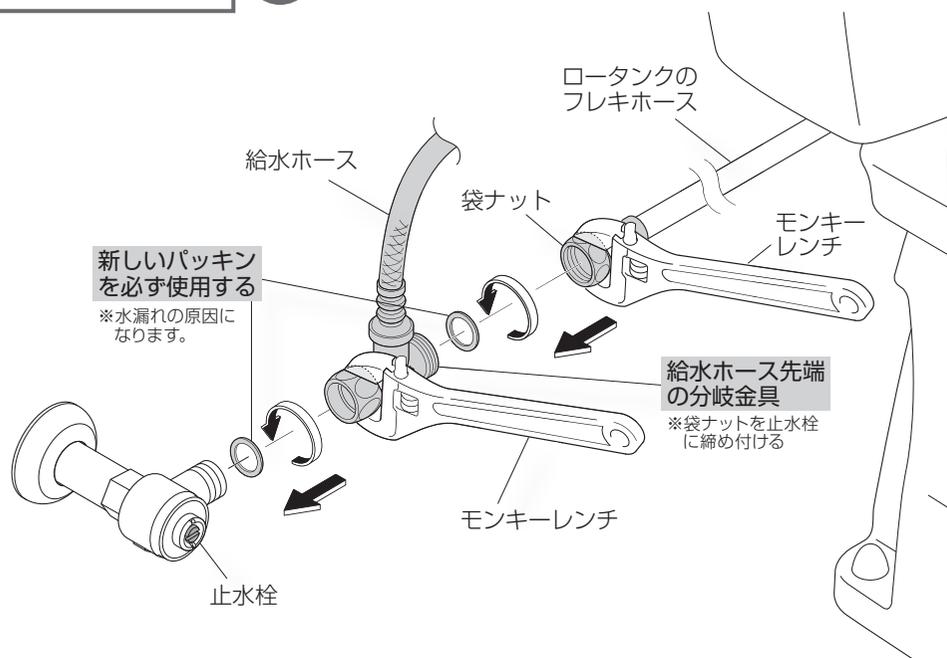
取り付けタイプ **D** P.28 へ

5. 分岐金具の接続

取り付けタイプ A



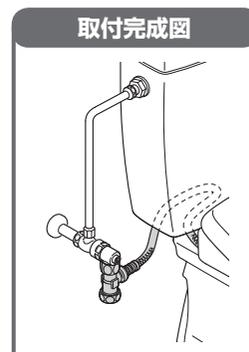
- 1 給水ホース先端の分岐金具を止水栓に取り付ける
 ※給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
 ※給水ホースはタンクの後ろに収めてください。
 ※ウォシュレット本体着脱（本体取りはずしボタンを押したまま、本体を手前に引く（P.22））ができないときは、適切な長さの給水ホースをご購入ください。（P.13）
- 2 ロータンクのフレキホースの袋ナットを締め付ける



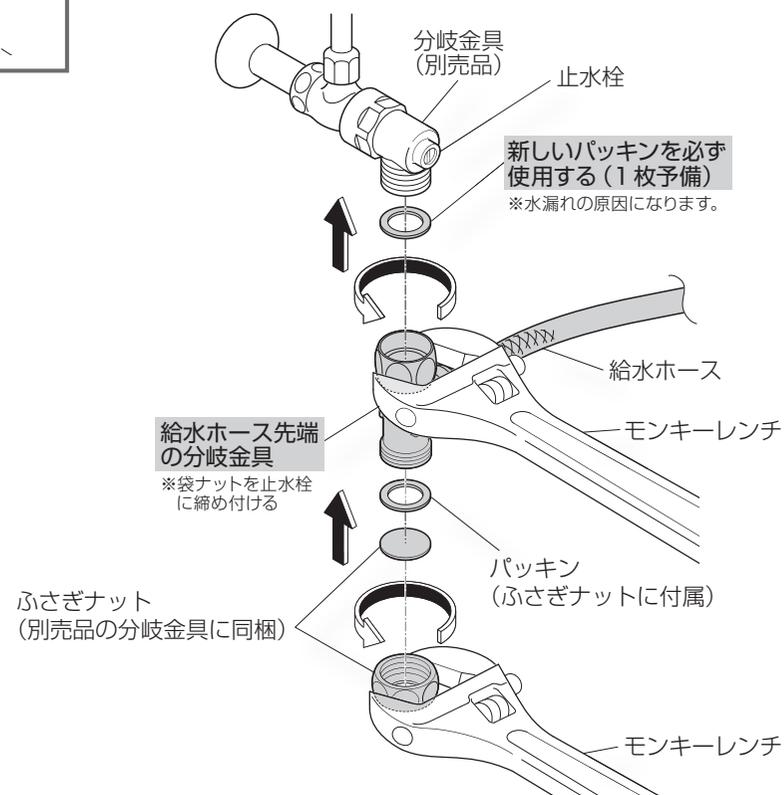
6. 電源（アース線）の接続へ P.29へ

5. 分岐金具の接続

取り付けタイプ B



- 1 給水ホース先端の分岐金具を別売品の分岐金具に取り付ける
 ※給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
 ※給水ホースはタンクの後ろに収めてください。
 ※ウォシュレット本体着脱（本体取りはずしボタンを押したまま、本体を手前に引く（P.22））ができないときは、適切な長さの給水ホースをご購入ください。（P.13）
- 2 ふさぎナットを取り付ける

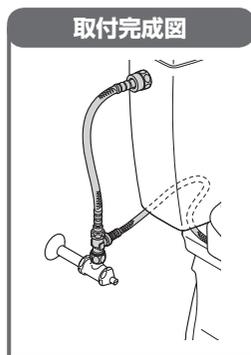


6. 電源（アース線）の接続へ P.29へ

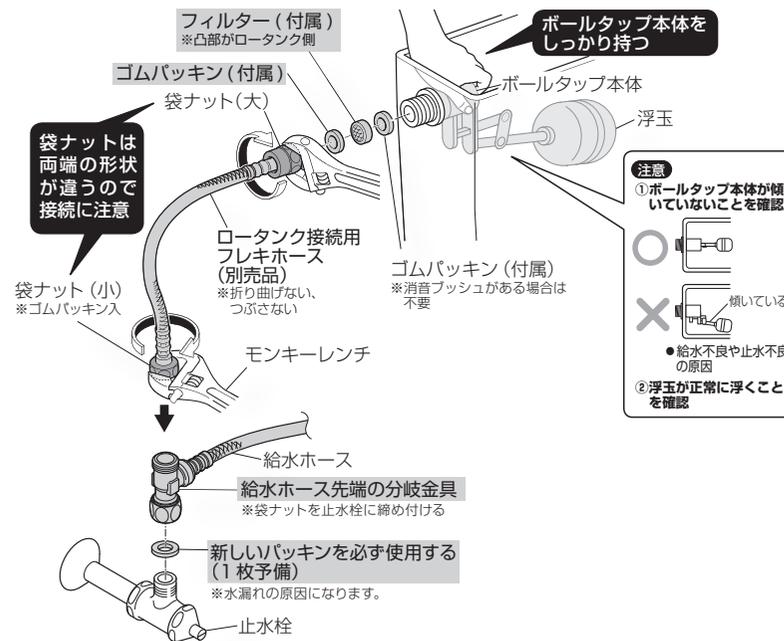
取り付け

5. 分岐金具の接続 取り付けタイプ C

新しいフレキホースに交換する場合



- 1 ロータンクふたを取りはずす
- 2 給水ホース先端の分岐金具を止水栓に取り付ける※1
- 3 別売品のロータンク接続用フレキホースの袋ナット(大)を締め付けたあとに袋ナット(小)を取り付ける※2
- 4 ロータンクふたを取り付ける
※手洗い付の場合は接続ホースを取り付けてください。



注意

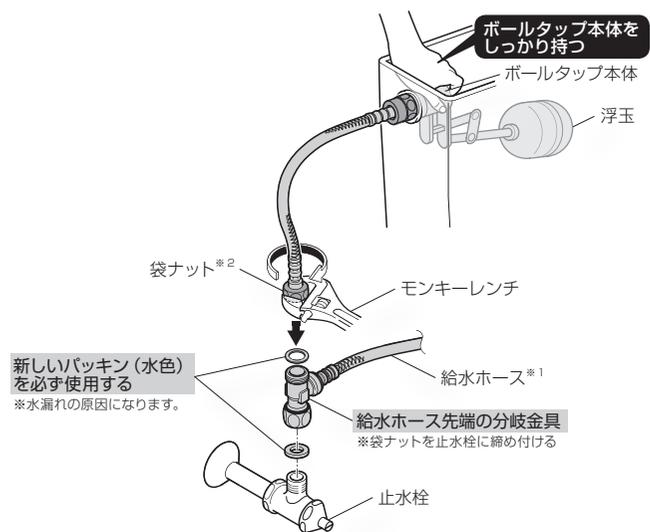
①ボールタップ本体が傾いていないことを確認

②浮玉が正常に浮くことを確認

●給水不良や止水不良の原因

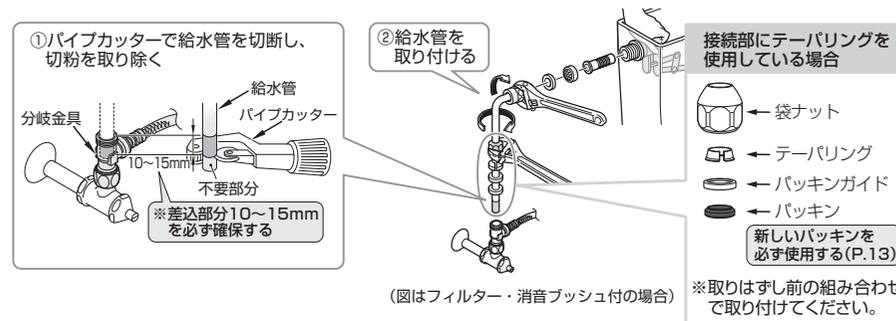
既設のフレキホースを使用する場合

初めにロータンクふたを取りはずし、分岐金具の接続が完了したらロータンクふたを取り付けてください。



取りはずした給水管を切断して使用する場合

初めにロータンクふたを取りはずし、分岐金具の接続が完了したらロータンクふたを取り付けてください。



※1 給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。給水ホースはタンクの後ろに収めてください。ウォシュレット本体着脱(本体取りはずしボタンを押したまま、本体を手前に引く(P.22))ができないときは、適切な長さの給水ホースをご購入ください。(P.13)

※2 フレキホースをまっすぐにした状態でナット袋を締め付けてください。

6. 電源(アース線)の接続へ P.29へ

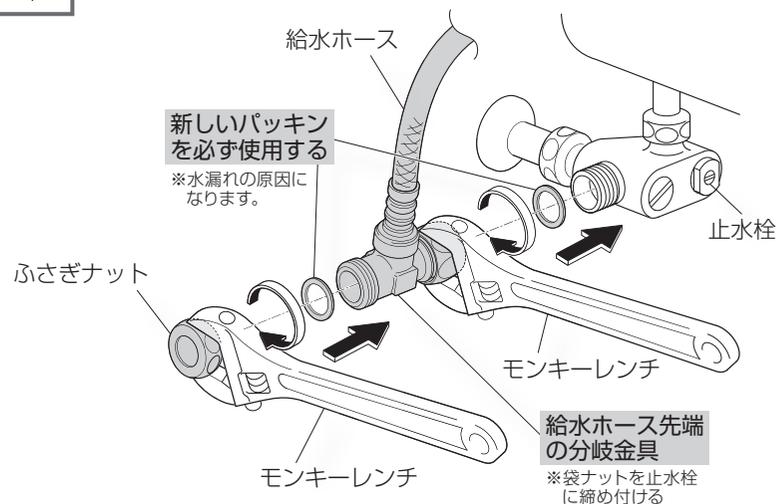
5. 分岐金具の接続

取り付けタイプ



1 給水ホース先端の分岐金具を止水栓に取り付ける

- ※給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしないでください。
- ※給水ホースはタンクの後ろに収めてください。
- ※ウォシュレット本体着脱（本体取りはずしボタンを押したまま、本体を手前に引く（P.22））ができないときは、適切な長さの給水ホースをご購入ください。（P.13）



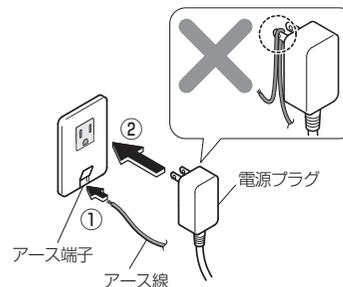
6. 電源（アース線）の接続

1 アース線をアース端子に接続する

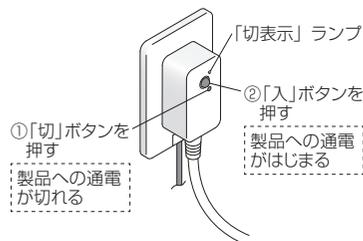
※アース端子がない場合は、電気工事店にご相談ください。

2 電源プラグを差し込む

（ノズルがいったん出て戻る）
※アース線を挟み込まないように注意してください。（ショートの原因）

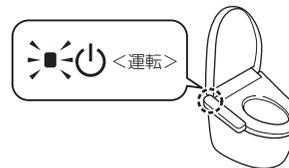


3 電源プラグの作動確認をする※1



「切表示」ランプが、①で点灯、②で消灯すれば正常です。

4 「運転」ランプの点灯を確認する



※1 電源プラグには、製品内部で漏電が起きたときに、製品への通電を切る「漏電保護機能」がついています。正しく作動するか確認してください。

6. 電源（アース線）の接続へ P.29へ

7. 試運転をするへ P.30へ

7. 試運転をする

次の項目を確認し、□にチェックを行ってください。

1 水漏れの点検

※万一水漏れがあればもう一度取り付けを行い、水漏れを止めてください。

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか、再確認する
- 水道の元栓を開く
- 止水栓を開いて配管接続部から水漏れがないことを確認する
- ウォシュレット本体の給水接続部より水漏れがないことを確認する
(長さ違いの給水ホースの取り付けをされた場合)

【止水栓】



【ロータンク】



【ウォシュレット本体】



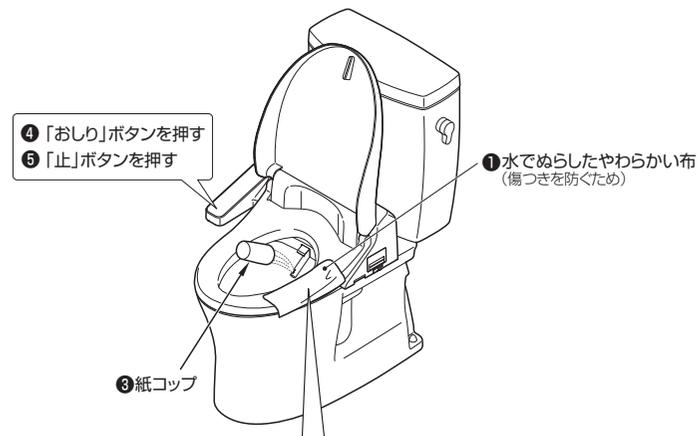
2 ウォシュレット本体表示部の確認

- ウォシュレット本体表示部の「運転」ランプが点灯していますか



3 機能の確認

- ノズルから洗浄水が出ますか
- ※ノズルから水が出るまで最大約1分かかります。

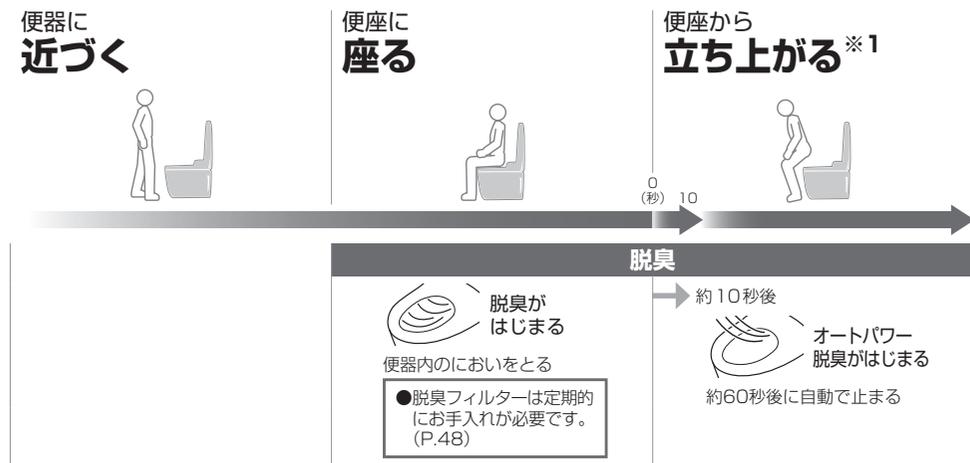


取り付け

基本の使いかた

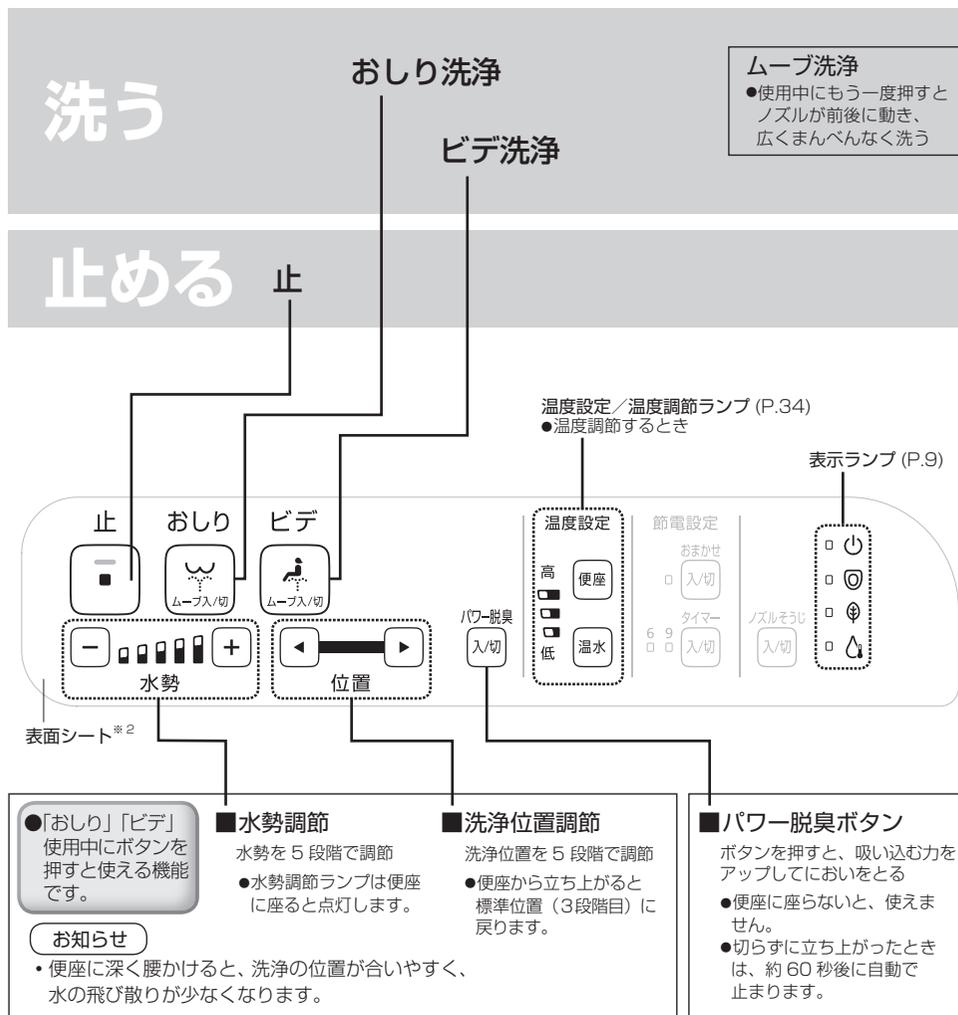
オート機能のはたらき

自動機能が搭載されています。



※1 毎回清潔にご使用いただくために、便座から立ち上がると、ノズル内の残水を抜きます。

ウォシュレット本体操作部を使う



※2 表面シート、ボタンは「抗菌」です。

おしり洗浄・ビデ洗浄について

- おしり洗浄は、排便後の局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
- ビデ洗浄は、生理時など局部周辺に付着した汚れを洗い流す機能です。
- おしり・ビデとも洗浄時間は約10秒～20秒を目安にご使用ください。

知っておいていただきたいこと

- ノズルの付近からときどき水が出ますが、これは温水タンク内の水が膨張して出てくるもので異常ではありません。
- 温水タンクは貯湯式ですので、連続して使用するとお湯の温度が低くなる場合があります。

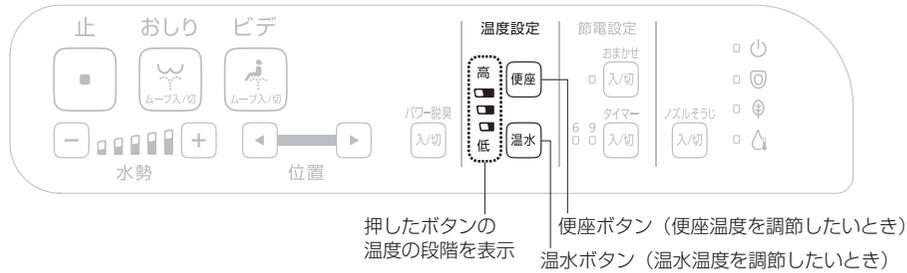
上記は初期設定での動きです。

●設定を変えてご使用いただくこともできます。→「いろいろな使いかた」(P.40～P.43)

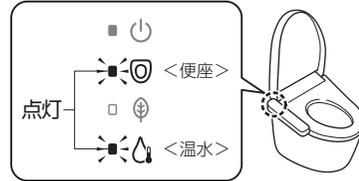
温度調節

便座 / 温水

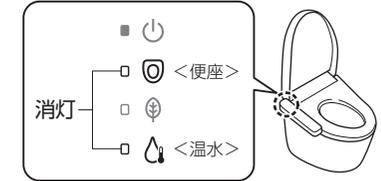
高温・中温・低温の3段階と、「切」の設定ができます。



温度設定されているとき



「切」のとき



温度を調節する

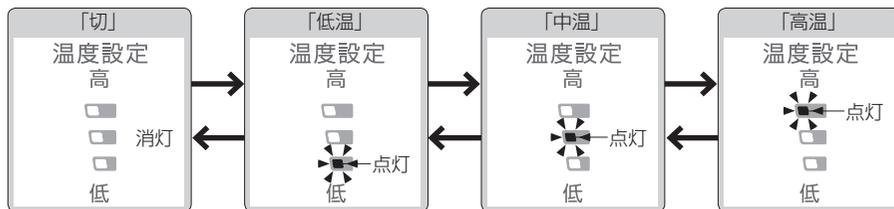
1 設定したい温度のボタン

便座・温水 を選んで押す

・現在の温度の段階が表示される

2 手順1で選んだボタンをお好みの温度の段階になるまで繰り返し押す

1 回押すたびに切り替わる



温度調節ランプは、約10秒以上ボタンを押さない時間が続くと、設定を記憶したまま消灯します。設定の途中で温度調節ランプが消灯したときは、手順1からやり直してください。

<設定完了>

便座、温水の温度を「切」にする

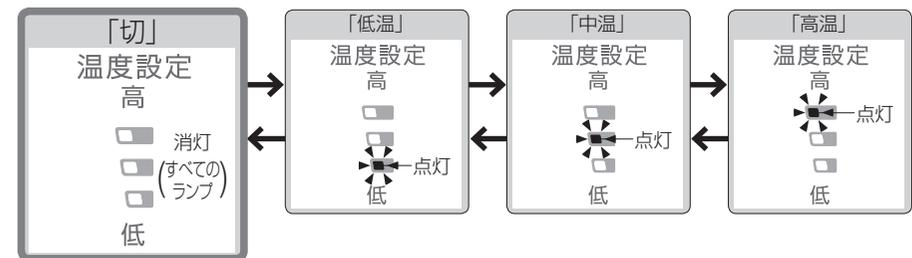
1 「切」に設定したい温度のボタン

便座・温水 を選んで押す

・現在の温度の段階が表示される

2 手順1で選んだボタンを温度の段階が「切」になるまで繰り返し押す

1 回押すたびに切り替わる



<設定完了>

●温度調節しても、便座や温水が温かくならないとき
 →節電が「入」になっていませんか？ (P.36・P.37)

節電機能

種類

節電は「おまかせ節電」と「タイマー節電」があります。
便座や温水の温度を下げて（または「切」にして）節電します。

	ウォシュレットに 自動で節電してもらいたい	決めた時間帯だけ節電したい (6時間/9時間)	とことん節電したい
	おまかせ節電	タイマー節電	タイマー節電 + おまかせ節電
	あまり使わない時間帯をウォシュレット が見つけ、自動で便座温度を下げます。 ●あまり使わない時間帯を見つける までに、約10日かかります。	一度設定すると、毎日その時間帯に 自動で便座と温水のヒーターを 切ります。	「タイマー節電」と「おまかせ節電」を両方 設定すると、「タイマー節電」中でないとき にも、「おまかせ節電」がはたらきます。
節電が はたらいて いるとき ■ウォシュレット 本体表示部 ■便座ヒーター ■温水ヒーター			<ul style="list-style-type: none"> ●「おまかせ節電」中： 「おまかせ節電」時のランプ表示 ●「タイマー節電」中： 「タイマー節電」時のランプ表示
例 設定温度 ^{※1} 低温 ^{※2} 切 ^{※3}	21:00 から 6:00 頃まであまり使用しない場合 	8:00 から 17:00 まで設定した場合 	タイマー節電とおまかせ節電の例を 組み合わせた場合

節電を設定したとき

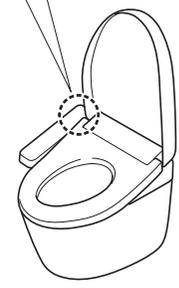
- <運転>
- <便座>
- <節電>
- <温水>

点灯 (緑色) ————

節電を設定していないとき

- <運転>
- <便座>
- <節電>
- <温水>

消灯 ————



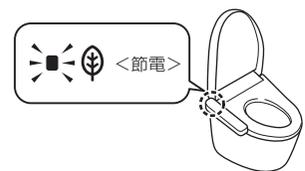
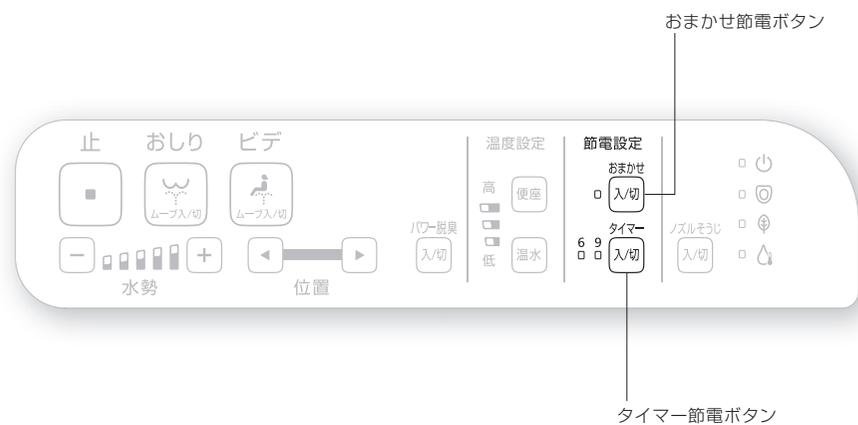
- 節電がはたらいているとき（便座ヒーター「低温」または「切」、温水ヒーター「切」）でも、便座に座ると一時的に温かくなります。（便座は約15分間、温水は約10分間で設定温度になります。）
（ウォシュレット本体表示部は、節電を設定したときのランプ表示に戻ります。）
- ※1 P.34 で設定した温度です。
- ※2 便座ヒーターが「低温」になる時間帯です。温水ヒーターは「設定温度」です。
- ※3 便座ヒーター、温水ヒーターが「切」になる時間帯です。

節電の設定は P38・39

使
い
か
た

節電機能

設定のしかた

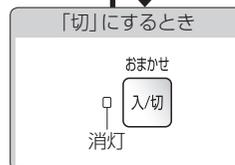


節電を設定すると「節電」ランプが点灯(緑色)します。

おまかせ節電

1 おまかせ
入/切 を押す

押すたびに切り替わる



<設定完了>

タイマー節電

●節電を開始したい時間に設定を行ってください。
例：午前1時から7時まで(6時間)節電をするとき

1 午前1時になったら、
タイマー
入/切 を押す

・「6」のランプが点灯するまで
繰り返し押す

押すたびに切り替わる



<設定完了>

設定の種類		変更できる設定 •太字は「はじめの設定」
オート機能	せいけつ	脱臭 入/切
		オートパワー脱臭 入/切

設定の内容	参照ページ
<ul style="list-style-type: none"> 便座に座ってからの脱臭を自動で する / しない 	P.43
<ul style="list-style-type: none"> 立ち上がってからパワー脱臭を自動で する / しない 	

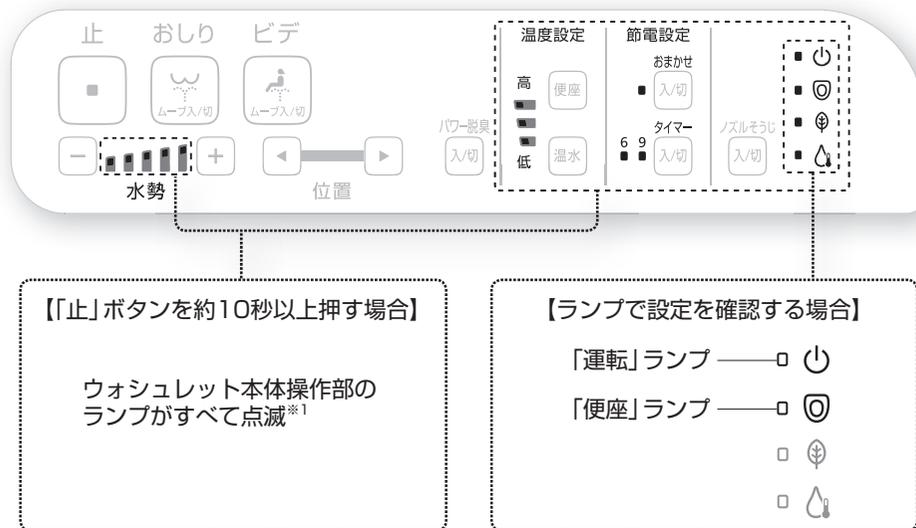
いろいろな使いかた

まず確認！

設定に使うボタン



設定中のランプ表示



※1 設定中、約60秒以内に次のボタンを押さないと点滅が解除されます。設定完了できなかった場合は、手順1からやり直してください。

オート機能

せいけつ

便座に座ってからの脱臭を自動で
する/しない

脱臭

立ち上がってからパワー脱臭を自動で
する/しない

オートパワー脱臭

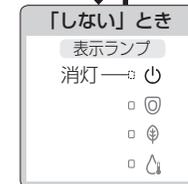
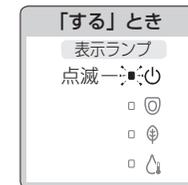
1 止 □ ウォシュレット本体操作部のランプがすべて点滅するまで、押す(約10秒)

2 便座 □

押す

押すたびに切り替わる

便座に座ってからの脱臭を自動で

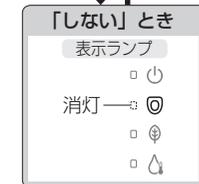
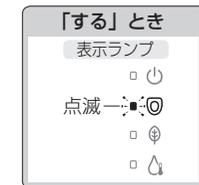


2 パワー脱臭 □

押す

押すたびに切り替わる

立ち上がってからパワー脱臭を自動で



3 止 □ 押す

<設定完了>

警告

! お手入れや点検のときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く（感電や誤作動による故障の原因）

お手入れの際は安全のため電源プラグを抜いてください。*1*2

「運転」ランプが点灯します。

点灯 → ← 消灯

↓

消灯 → ← 点灯

ウォシュレット本体



便器

プラスチック部品には、かわいた布やトイレトペーパーを使わないでください。（傷つきの原因）



- ※1 「ノズルそうじ」使用時は除く
- ※2 電源プラグをコンセントから抜くとタイマー節電の設定が解除されます。もう一度設定してください。（P.39）（設定していた時間の「タイマー節電」ランプが点滅してお知らせします。）

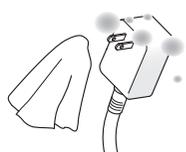
電源プラグ（目安：月に1回）



かわいた布

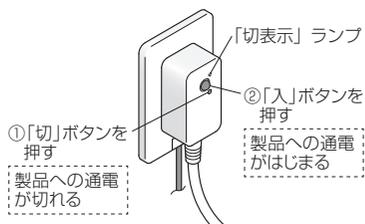
ぬれた布

1 電源プラグを抜き、かわいた布でふく



2 電源プラグを差し込み、作動確認をする

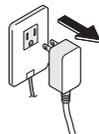
（電源プラグについて→P.29 ※1）



「切断表示」ランプが、①で点灯、②で消灯すれば正常です。

警告

- !** ●電源プラグの刃などについたほこりは、定期的に取り除く
 - ・プラグを抜き、かわいた布でふいてください。
- 根元まで差し込む
- 抜くときは、電源プラグ本体を持つ
 - ・コードを引っ張ると、プラグやコードが傷みます。



ウォシュレット本体（ふだん）



水でぬらしたやわらかい布

・トイレトペーパー
・かわいた布
・ナイロンたわし（傷つきの原因）

1 電源プラグを抜き、水でぬらしたやわらかい布をよくしぼって、ふく

■汚れがひどいときは

・うすめた台所用中性洗剤をふくませたやわらかい布でふいてから、水ぶきする



・シンナー
・ベンジン
・クレンザー

2 電源プラグを差し込む

・「運転」ランプが点灯する

お願い

- ウォシュレットは電気製品です。内部に水が入ったり、洗剤がウォシュレット本体と便器のすき間に残らないよう、気を付けてください。（プラスチックを傷めたり、故障の原因）
- トイレ用洗剤で便器を掃除するときは、3分以内に洗い流し、便座・便ふたは開けたままにしておいてください。
 - ・便器に残った洗剤はふき取ってください。（洗剤の気化ガスがウォシュレット本体内に入ることによる、故障の原因）
- ノズルまわりにあるカバーは、無理な力で押ししたり引っ張ったりしないでください。（破損や故障の原因）
- 便座裏面や便座クッションなども、水でぬらしたやわらかい布をよくしぼってふいてください。（汚れ付着などによる変色の原因）

お手入れ

本体のすき間 (ウォシュレット本体と便器)

ウォシュレット本体と便器のすき間 (目安: 月に1回)

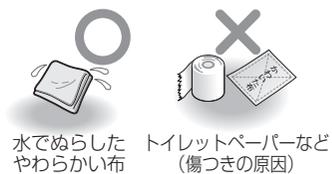
ウォシュレット本体をはずして、
便器の上面や本体の底面をお手入れできます。

1 電源プラグを抜き、 ウォシュレット本体を取りはずす

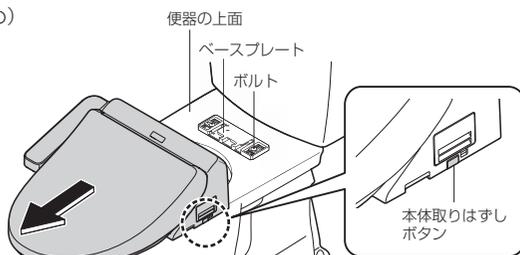
- ・無理に引っ張らない
(給水ホース、電源コードがあるため)



電源プラグを抜かないと、
製品が誤作動し故障や感電
の原因になります。



水でぬらした
やわらかい布
トイレットペーパーなど
(傷つきの原因)

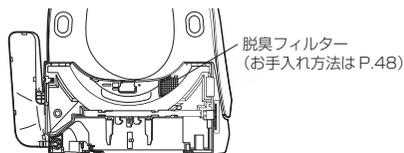


ボタンを押したまま、
ウォシュレット本体を
手前に引く

2 便器の上面とウォシュレット本体の 底面をお手入れする

- ・うすめた台所用中性洗剤をふくませた
やわらかい布でふいてから、
洗剤が残らないよう水ぶきする

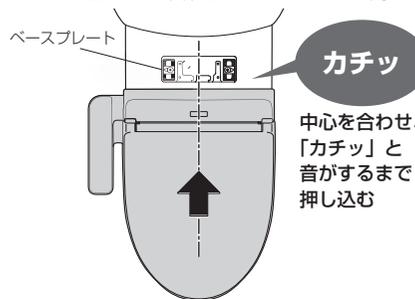
<本体底面>



脱臭フィルター
(お手入れ方法はP.48)

3 ウォシュレット本体を取り付ける

- ・ウォシュレット本体とベースプレートに、コード類を挟み込まないようにしてください。



中心を合わせ、
「カチッ」と
音がするまで
押し込む

⚠️注意

ウォシュレット本体は、ベースプレートに
「カチッ」と音がするまで確実に押し込む
(ウォシュレット本体がはずれて落下す
るおそれ)

取り付け後、ウォシュレット本体を手前
に引き、はずれないことを確認する

4 電源プラグを差し込む

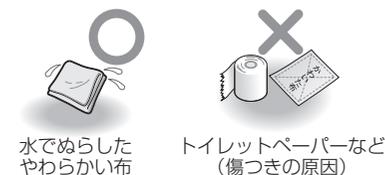
- ・「運転」ランプが点灯する

本体のすき間 (ウォシュレット本体と便ふた)

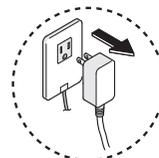
ウォシュレット本体と便ふたのすき間 (目安: 月に1回)

便ふたを取りはずして、
すみずみまでお手入れができます。

1 電源プラグを抜き、 便ふたを取りはずす



水でぬらした
やわらかい布
トイレットペーパーなど
(傷つきの原因)



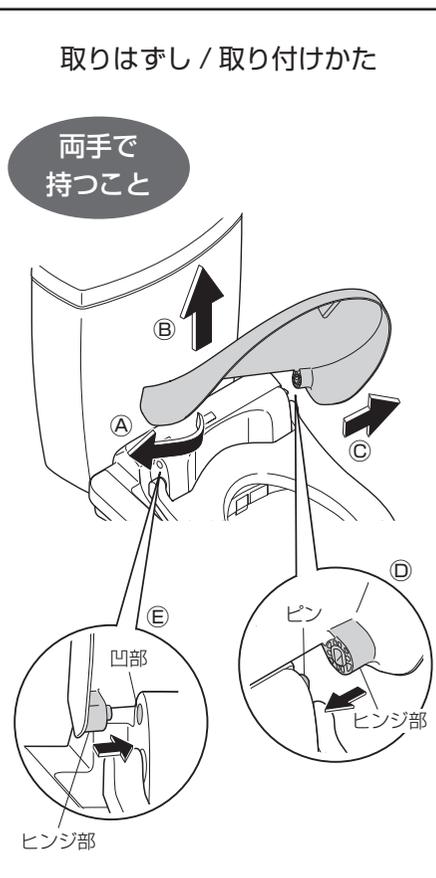
便ふたを少し手前に傾ける

- ①: 左側を外側に広げ
- ②: ヒンジ部を凹部から
はずし引き上げる
- ③: 右側をはずす

2 水でぬらしたやわらかい布を よくしぼって、ふく

3 便ふたを取り付ける

- ④: 右側のピンとヒンジ部を合わせる
便ふたを少し手前に傾ける
- ⑤: 左側を広げながら、
⑥: ヒンジ部を凹部に合わせ取り付ける
※指をはさまないように注意してください。



4 電源プラグを差し込む

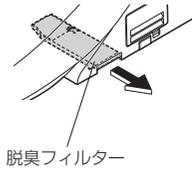
- ・「運転」ランプが点灯する

5 便ふたを開閉して 取り付けを確認する

脱臭フィルター (目安: 月に1回)

1 電源プラグを抜き、脱臭フィルターを取りはずす

- つまみを持って、外側に引き出す
- 無理に引っ張らない (破損や故障の原因)



脱臭フィルター

2 歯ブラシなどで掃除をする

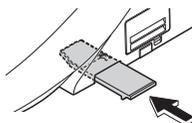
- 水洗い時は、取り付け前に水気を取る
- 汚れ、目詰まりなどがひどい場合は、交換をおすすめします。(購入は P.60)



歯ブラシ

3 脱臭フィルターを取り付け、電源プラグを差し込む

- 「運転」ランプが点灯する



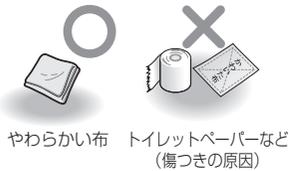
「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

ノズル (目安: 月に1回)

〈汚れが気になるとき (ノズルそうじ)〉

1 ノズルそうじ 入切 を押し

- ノズルが出て掃除のための水が出る
- 約5分後に自動で戻る



やわらかい布 トイレペーパーなど (傷つきの原因)

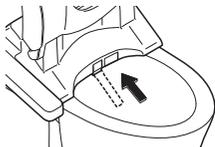
2 やわらかい布で水ぶきする

- ノズルを無理に引っ張ったり、押し込んだり、押さえつけたりしない (破損や故障の原因)



3 ノズルそうじ 入切 を押し

- ノズルが戻る



脱臭フィルター



ノズル

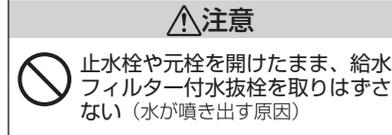
給水フィルター付水抜栓

給水フィルター付 水抜栓 (目安: 半年に1回)

〈水勢が弱くなったと思ったとき〉

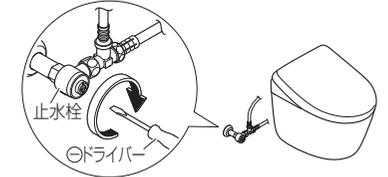
1 止水栓または元栓を閉める

- 給水が止まる



⚠注意

止水栓や元栓を開けたまま、給水フィルター付水抜栓を取りはずさない (水が噴き出す原因)



止水栓

⊖ドライバー

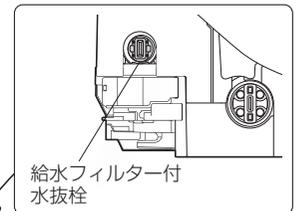
2 ノズルそうじ 入切 を押し、ノズルを伸出させたあと、

もう一度 入切 を押してノズルを戻す (給水管の圧抜き)

3 電源プラグを抜く

4 給水フィルター付水抜栓を取りはずす

- 給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめたあと、引っ張る



給水フィルター付水抜栓

5 歯ブラシなどで掃除をする

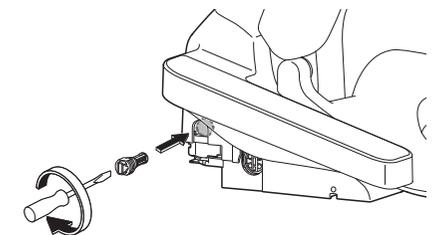
- 給水フィルター付水抜栓取付穴のゴミも取り除く
- 汚れ、目詰まりなどがひどい場合は、交換をおすすめします。(購入は P.60)



⊖ドライバー

6 給水フィルター付水抜栓を取り付ける

- 給水フィルター付水抜栓を押し込み、⊖ドライバーで確実に締める



7 電源プラグを差し込む

- 「運転」ランプが点灯する

8 止水栓または元栓を開ける

こんなときは

断水で水が流せないとき

お使いの便器の取扱説明書をあわせてご確認ください。

- 1 バケツで水を流す
- 2 流した後、水位が低くなったら水をつぎ足す

(水位が上がらなくなるまで)
・においを防ぐため

お願い

・断水が復帰したら、必ず大洗浄してください。
(排水管に汚物が停滞する可能性があるため)

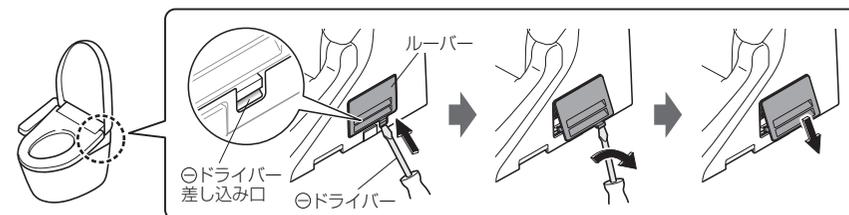


脱臭が弱くなったとき

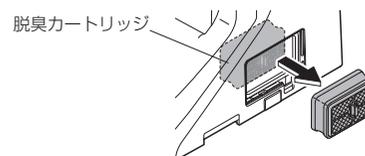
脱臭フィルターを掃除してください。(P.48)

それでもにおいが気になるときは、脱臭カートリッジを交換してください。(購入はP.60)

- 1 電源プラグを抜く
- 2 ウォシュレット本体右側面のルーバーを取りはずす



- 3 脱臭カートリッジを取りはずす



ご注意

・脱臭カートリッジの黒粉が手に付いたときは、すぐに手を洗ってください。(炎症を起こすおそれ)

- 4 新しい脱臭カートリッジとルーバーを取り付ける

・確実に奥まで押し込む



- 5 電源プラグを差し込む

・「運転」ランプが点灯する

こんなときは

凍結予防をするとき

外気温が0℃以下になるときは、凍結予防を行ってください。

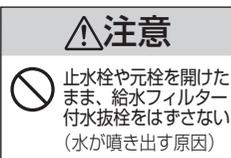
お願い

- ・外気温が0℃以下になるときは、節電しないでください。(製品が破損するおそれ)
- ・周囲の温度が0℃以下にならないよう、トイレ内を暖めるか、凍結予防を行ってください。

凍結予防のしかた

1 止水栓または元栓を閉める (P.4)

- ・給水が止まる



●水抜栓がある場合

- ・水抜栓を操作して給水を止める

お願い

- ・止水栓は開けたままにしておいてください。(製品内部の水が抜けずに凍結破損するおそれ)

2 ロータンクレバーを大洗浄側に回してロータンクの水を抜く

- ・水が流れなくなるまでレバーを回す



3 ノズルを出す (給水管の圧抜き)

ノズル出し

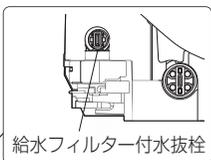
- ・ 入切 を押し、ノズルを伸出させたあと、
ノズルを 入切
もう一度 入切 を押し、ノズルを戻す

4 電源プラグを抜く

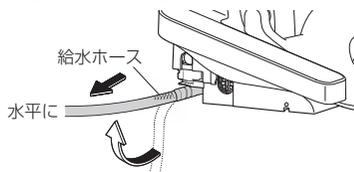
5 配管の水を抜く

①給水フィルター付水抜栓を取りはずす

- ・給水フィルター付水抜栓を⊖ドライバーでゆるめたあと、引っ張る

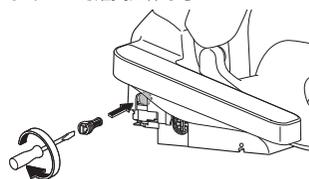


②給水ホースの水を抜く



③水抜きが終わったら、給水フィルター付水抜栓を取り付ける

- ・給水フィルター付水抜栓を押し込み、
⊖ドライバーで確実に締める



6 電源プラグを差し込む

- ・「運転」ランプが点灯する

7 便座温度を「高」、温水温度を「高」にする (P.34)

- ・保温のため、作業後は便座・便ふたを閉めておく

■再度ウォシュレットをお使いになるときは
・再通水が必要です。(P.53)

長期間使わないとき

別荘などのトイレを長期間使わないときは、水抜きをしてください。

(故障やウォシュレット用タンク内の水が腐敗して皮膚の炎症などをおこす原因)

水抜きのしかた

1 ロータンクの水を抜く (P.52 手順 ① ②)

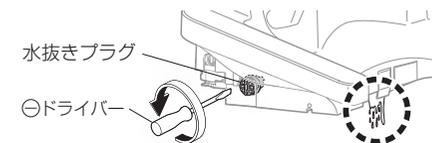
2 ノズルを出す (P.52 手順 ③)

3 電源プラグを抜く

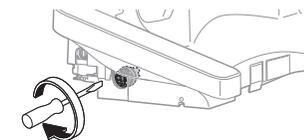
4 配管の水を抜く (P.52 手順 ⑤)

5 水抜きプラグを空回りするまでゆるめる

- ・ノズル付近から水が出る
(水がすべて抜けるまで約3分かかります。)
- ※水抜きプラグは取りはずしできません。



6 水抜きプラグをマイナスドライバーで確実に締める



■凍結のおそれがあるときは

- ・便器のたまり水(封水)に不凍液を入れるなどして凍結しないようにしてください。(不凍液はそのまま流さず、使用前に回収し、廃棄処分してください。)

■再度ウォシュレットをお使いになるときは

- ・再通水が必要です。(下記)

再通水のしかた

1 止水栓または元栓を開ける、または水抜栓を操作して給水する

- ・配管やウォシュレット本体から水漏れしていないことを確認する

2 電源プラグを抜いているときは電源プラグをコンセントに差し込む

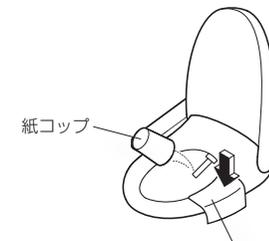
- ・「運転」ランプが点灯する

3 ノズルから水を出す

- ①便座の右側を押したまま、
- ②ウォシュレット本体操作部の「おしり」ボタンを押して、ノズルから約2分間水を出す
 - ・ノズルから水が出るまで最大約1分かかります。
 - ・水は紙コップなどで受けてください。
- ③ウォシュレット本体操作部の「止」ボタンを押す

■残水が凍結して出ないとき

- ・トイレ内を暖め、お湯に浸した布で給水ホースと止水栓を温める



水でぬらしたやわらかい布(傷つきを防ぐため)

必要なとき

故障かな？と思ったら

まず、P.54～56の処置方法をお試ください。
それでも直らないときは、お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご相談ください。

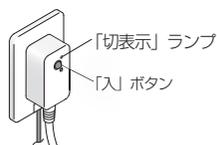


まず、ご確認ください

運転ランプが点灯していますか？

■電源プラグの切表示ランプが点灯していませんか？
→「入」ボタンを押す(ランプ消灯)

■配電盤のブレーカーが入っていますか？
→停電したり、ブレーカーが「切」になっていないか確認する



節電ランプが点灯していませんか？

■点灯中は節電中(P.36)のため、便座の温度を下げたり温水、便座のヒーターを切ったりしています。

おしり・ビデ洗浄・ノズル

こんなとき	ご確認ください	参照ページ
ノズル(洗浄水)が出ない	●約2時間以上連続して座っていませんか？(安全のため、操作できなくなります) →一度便座を立ち、再度お使いください。	—
	●便座に浅く座ると、着座スイッチが入らない場合があります。 →便座に深く腰かけてお使いください。	7
	●便座・便ふたカバー、幼児用便座などを使っていませんか？ →カバーは、はずしてください。 幼児用便座や、やわらか補高便座は、使うたびにはずしてください。	7
ノズルは出るが洗浄水が出ない/洗浄水の勢いが弱い	●断水していませんか？ →「止」ボタンを押し、断水が終わるのを待ってください。	—
	●止水栓が閉まっていませんか？ →止水栓を全開にしてください。	30
	●給水フィルター付水抜栓にゴミが詰まっていませんか？ →フィルターを掃除してください。	49
	●水勢の設定が弱くなっていませんか？	33
洗浄水が冷たい	●水抜きプラグがゆるんでいませんか？ →水抜きプラグを確実に締めてください。	53
	●温水温度の設定が「切」または低くなっていませんか？	34
	●給水温度やトイレ室温が低い場合、吐水はじめての温水温度が低いことがあります。 ●タイマー節電中になっていませんか？ ・表示ランプの「節電」ランプが点灯、「運転」ランプが消灯している場合は、節電がはたらいています。 便座に座ると一時的に温水ヒーターが入り、約10分で温かくなります。 →タイマー節電が「入」になっている場合は、「切」に変更することもできます。	36 39
途中で止まる	●おしり・ビデ洗浄は約5分間連続使用すると自動で止まります。 ●着座スイッチが検知しにくくなっていませんか？ →便座に深く腰掛ける。途中で腰を浮かせたり、便座の前よりに座ると、着座スイッチが検知しにくくなり途中で止まることがあります。	— 7
ノズルから勝手に水が出る	●ノズル付近からときどき水が出てきますが、温水タンク内の水が膨張して出てくるものです。	—



故障かな？と思ったら

	こんなとき	ご確認ください	参照ページ
便座・便ふた	便座が冷たい	●便座の温度設定が「切」、または低くなっていませんか？	34
		●節電中になっていませんか？ ・表示ランプの「節電」ランプが点灯、「運転」ランプが消灯している場合は、節電がはたらいています。 便座に座ると一時的に便座ヒーターが入り、約15分で温かくなります。 →節電が「入」になっている場合は、「切」に変更することもできます。	36 39
		●便座に長時間座っていませんか？ ・座ってから約20分以上たつと温度が下がり、約1時間以上たつと便座ヒーターが「切」になります。→一度便座を立ち、再度お使いください。	-
		●便座、便ふたの上にものを置いていますか？ →便座、便ふたの上にものを置いている場合は取ってください。	-
		●便座・便ふたカバーを取り付けていませんか？ →カバーは、はずしてください。	7
節電	タイマー節電が作動しない	●電源プラグを抜いたり、停電しませんでしたか？ ・設定が解除されます。→もう一度設定してください。 (電源が一度切れると、「タイマー節電」ランプが点滅してお知らせします。)	39
	おまかせ節電が作動しない	●使用状況を数日学習して節電するので、使用頻度によってはあまり節電しないことがあります。 →節電の種類を確認してください。	36
脱臭	脱臭がきかない	●「脱臭」が「切」になっていませんか？→「入」にしてください。	43
		●便座に座っても、作動音が聞こえないとき→便座に深く腰かけてお使いください。	-
		●便座に座ると、作動音が聞こえるとき→脱臭フィルターを掃除してください。 それでもにおいが気になるときは、脱臭カートリッジを交換してください。	48 51
その他	異臭がする	●市販の芳香剤や消臭剤などを使っていませんか？ ・ウォシュレットの脱臭効果が低下したり、異臭がすることがあります。 →芳香剤や消臭剤を取ってください。 それでもにおいが気になるときは、脱臭カートリッジを交換してください。	51
	オートパワー脱臭が作動しない	●「オートパワー脱臭」が「切」になっていませんか？→「入」にしてください。 ●便座から立ち上がって約10秒後に作動します。	43 -
その他	配管接続部から水漏れする	●接続部のナットがゆるんでいたら、モンキーレンチなどできつく締めてください。 →それでも止まらないときは、止水栓を閉め、修理を依頼してください。	57
	ウォシュレット本体がガタつく	●便座クッションと便器の間に着座スイッチを動作させるためのすき間を設けています。便座に座ると便座が少し下がり、着座スイッチが入ります。 ●ウォシュレット本体を固定しているボルトがゆるんでいませんか？ →ウォシュレット本体を取りはずしたあと、ベースプレートのボルトをしっかりと固定してください。	7 46
	ウォシュレット本体から音がする	使用後、便器から離れるとき ●「オートパワー脱臭」が「入」のときは、便座から立ち上がって約60秒間、においを吸い込む力をアップするための音がします。 →「切」に変更することもできます。	43
	タイマー節電ランプが点滅している	●電源プラグを抜いたり、停電しませんでしたか？ ・設定が解除されます。→もう一度設定してください。 (電源が一度切れると、「タイマー節電」ランプが点滅してお知らせします。)	39

アフターサービス

修理を依頼する前に、「故障かな？と思ったら」(P.54～56)をご確認ください。

■保証書

- 必ず「取付店・販売店、お買い上げ日」などの記入をお確かめになり保証書をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日から1年間です。

■補修用性能部品の最低保有期間

- ウォシュレットの補修用性能部品(※1)の最低保有期間は、製品の生産終了後10年です。
※1 機能維持に不可欠な部品で使用期間中に取り替える必要が発生する可能性が大きいもの

補修用性能部品の保有期間が経過いたしますと修理できない場合があります。
保有期間内においても代替品(仕様・形状・材質などが異なる部品)での提供の場合がありますので、ご了承願います。

■部品交換について

- 無料修理により取りはずされた部品・製品はTOTO(株)の所有となります。

■延長保証制度(有料)について

延長保証料金やお申込み方法などの詳細は、同梱のご案内チラシまたはTOTOホームページをご覧ください。

- 一般家庭以外(事務所・店舗・病院など不特定多数の方が使用される場所)でのご使用の場合は、保証対象外のためお申込みできません。

TOTO ホームページ <https://jp.toto.com>

延長保証制度に関するお問い合わせは、TOTO(株) 延長保証事務局 へお願いします。
TEL ☎ 0120-100514 受付時間：平日9:00～17:00 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

定期点検のおすすめ

- 逆流防止装置は必ず6年ごとに定期点検を行ってください。(水が逆流し、人体に影響を及ぼす原因になります。)機能部品は、お買い上げ日より3年以上たったものは定期点検をおすすめします。
なお、点検はTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご依頼ください。

お問い合わせ先

安心・信頼のTOTOメンテナンス(株)修理受付センターへ
ホームページ <https://www.tom-net.jp>
TEL ☎ 0120-1010-05
FAX ☎ 0120-1010-02
受付：年中無休 受付時間：8:00～19:00
訪問修理：年中無休(一部地域を除く) 営業時間：9:00～18:00

定期点検を行った日付を記入しておきましょう!

	日付
お買い上げ日	
1回目点検日	
2回目点検日	
3回目点検日	

修理料金について【TOTOメンテナンス(株)修理受付センターにご依頼の場合】

修理により商品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料にて修理をさせていただきます。
標準修理料金は **技術料** + **部品代** + **訪問料** で構成されています。
ただし、補修用性能部品の保有期間が経過している商品は、修理できない場合がございます。

■保証期間中に修理を依頼されるとき

- もう一度説明書をよくお読みいただきご確認ください。
なお異常のあるときにはお求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターに修理を依頼してください。保証書の記載内容により修理いたします。
- 修理を依頼されるときは必ず保証書をご提示ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所、ご氏名、電話番号
- 製品名、品番(TCF...) → 便ふたの裏をご覧ください。
- お買い上げ日 → 保証書をご覧ください。
- 訪問ご希望日

【お客様の個人情報のお取扱い】

お客様からお預りした個人情報は関連法令及び社内諸規定に基づき、慎重かつ適切にお取扱いします。
詳しくはTOTOホームページをご覧ください。

■保証期間経過後修理を依頼されるとき

- お求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)修理受付センターにまずご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご希望により有料で修理します。

重大事故防止のお願い

重大事故防止のためのお願い

温水洗浄便座は電気製品です

ご自宅の温水洗浄便座、
何年お使いですか？
故障していませんか？

長年のご使用や故障したままのご使用は、
電子・電気部品が劣化して発煙・発火などの恐れがあります。



温水洗浄便座を安全に使う3つのポイント

①

定期的な点検を
おすすめします。
まずは自分で
安全チェックを。

安心してご使用いただくため、定期的
な点検(有料)をおすすめします。

②

リコール製品や
故障した製品は
使わない
でください。

発煙・発火などの原因になります。す
ぐに電源プラグを抜き、止水栓を開め
てご使用を中止してください。

③

長期間お使いの
製品は点検と
買い替えを
ご検討ください。

長期間(10年以上)ご使用の温水洗
浄便座は買い替えをご検討ください。

温水洗浄便座 セルフ安全チェックポイント

- トイレが焦げ臭いなどいつもと違うにおいがする。
- 便座がときどき冷たい(節電中は除く)。
- 便座が異常に熱いときがある。
- お湯や温風が異常に熱い、または冷たいときがある。
- 便座のゴム足が外れている、ガタツキがある。
- 便座コードの発熱やねじれ、キズ、挟み込みがある。
- 便座にひびや割れがある。
- 操作部のシールがめくれたり、ひび割れたりしている。
- 電源プラグやコードの発熱や焦げ、変色がある。
- 製品や便器を伝って水漏れしている。
- 使うときだけ少量の水がたれて水漏れしている。

上記症状は、発煙・発火などの原因になります。すぐに電源プラグを抜き、止水栓を開めてご使用を中止し、
販売店、工事店またはメーカーへご連絡ください。

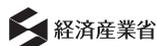
一般社団法人
発行元: **日本レストルーム工業会**

<https://www.sanitary-net.com/>

トイレナビ



詳細はこちらを
ご覧ください



一般社団法人
リビングアメニティ協会

仕様

項目		TCF8CK68型
定格電源		交流 100V 50 / 60Hz
定格消費電力		318W
区分 *1		貯湯式
年間消費電力量 *2		159kWh / 年 (221kWh / 年)
電源コード長さ		1.0m (漏電保護プラグ付)
洗浄装置	吐水量	おしり洗浄 約 0.27 ~ 0.43L / min (水圧 0.2MPa のとき)
		ビデ洗浄 約 0.29 ~ 0.43L / min (水圧 0.2MPa のとき)
	吐水温度	温度調節範囲: 切、約 35 ~ 40°C
	タンク容量	約 0.49L
	ヒーター容量	250W
	安全装置	温度ヒューズ、空焚き防止フロートスイッチ
暖房便座	逆流防止装置	バキュームブレーカー、逆止弁
	表面温度	温度調節範囲: 切、約 28 ~ 36°C (おまかせ節電時: 約 26°C)
	ヒーター容量	50W
脱臭装置	安全装置	温度ヒューズ
	方式	O ₂ 脱臭
	風量	標準モード: 約 0.09m ³ / min、パワーモード: 約 0.16m ³ / min
消費電力	標準モード: 約 1.7W、パワーモード: 約 5.3W	
給水圧力	最低必要水圧: 0.05MPa (流動時)、最高水圧: 0.75MPa (静止時)	
給水温度	0 ~ 35°C	
周囲使用温度	0 ~ 40°C	
製品寸法	幅473 × 奥行531 × 高さ168mm	
製品質量	約 4.7kg	

*1 省エネ法 (2012 年度基準) の区分

*2 省エネ法 (2012 年度基準) に基づいた測定値、() 内はタイマー節電機能を使用しない場合の年間消費電力量

●この製品は、日本国内専用製品です。

■抗菌 (※抗菌力は、抗菌加工された製品の表面に細菌が直接触れないと発揮されません。)

抗菌効果	製品表面の細菌の増殖を抑制します。これは JIS Z 2801 の抗菌性試験方法による試験を JNLA 認定試験所で実施し、その結果が JIS Z 2801 の抗菌効果の基準を満たしたものです。これにより感染防止、防汚、防カビ、防臭、ぬめり防止などの副次的効果を訴求するものではありません。
抗菌加工部位	暖房便座、便ふた、ノズル、ウォシュレット本体操作部 (表面シート・ボタン)

抗菌剤の種類	無機系
抗菌性能持続性	(一社) 日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
安全性	(一社) 日本建材・住宅設備産業協会基準により確認
禁止事項	酸性、アルカリ性の洗剤は使用しないでください。
取扱注意事項	抗菌力を発揮させるために、製品の表面はよく掃除された状態に保ってください。

必要とき

交換部品 / 別売品

●仕様、品番などは、予告なく変更する場合があります。
希望小売価格などの詳細は、TOTO パーツショップをご確認ください。
<https://tom-parts.jp.toto.com>



交換部品

■給水フィルター付 水抜栓 (P.49)	■便ふたクッション (P.9)	■便座クッション (P.9)	■脱臭カートリッジ (P.51)	■脱臭フィルター (P.48)
品番 TCM1790	品番 TCM2296	品番 TCM1792R	品番 TCM1788	品番 TCM6827

ご購入には、便ふた裏に記載している色名が必要です。

別売品

■フレグランスセット
心地よい香りでトイレを演出
芳香剤を置かなくても、トイレを使うときだけ自動でほのかに香ります。

<フレグランス後付けキット (4枚入り)>

ケースを脱臭排気口 (P.9) に取り付けて、フレグランスシート*1を入れたトイレを差し込みます。



セット内容	フレグランスシート……4枚 フローラル×1 石けん×1 ウッディ×1 シトラス×1 ケース……………1個 トレー……………1個
品番	TCA238

<フレグランス後付けキット 詰替え用 (8枚入り)>

フレグランスシートの詰替えセットです。必ず専用のフレグランスシート*1をお求めください。



セット内容	フレグランスシート……8枚 フローラル×2 石けん×2 ウッディ×2 シトラス×2
品番	TCA239

■トレー



品番	TCM2085
----	---------

※1 交換の目安は約30日間です。
(一般家庭で標準的な使用条件にて使用の場合)

TOTOメンテナンス(株)TOTOパーツセンター(裏表紙参照)でご購入の場合

■お届けについて

ご注文から2週間以内に宅配便でお届けします。
※ご注文が集中し、商品の品切れによりお届け日が遅れる場合があります。あらかじめご了承ください。またお届けが大幅に遅れる場合は、お届け予定日をご連絡いたします。

■お支払いについて

お届けした宅配業者に、商品代、送料、消費税相当額をお支払いください。送料につきましては、別途TOTOパーツセンターへお問い合わせください。

■返品・交換について

交換部品の不良などによる返品、交換については、商品到着後8日以内にTOTOパーツセンターまでご返送ください。送料はTOTOパーツセンターが負担し商品を送付させていただきます。お客様のご都合による返品、交換については、商品到着後8日以内にTOTOパーツセンターまでご返送ください。なお送料はお客様負担となりますのでご了承ください。お客様の元で、汚れたり破損した商品や、一度で使用になられた商品の返品、交換はいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

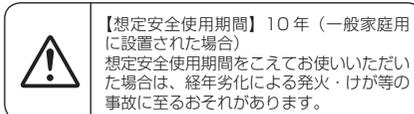
製品の安全使用 / ご愛用者登録

製品の長期使用に関する本体表示について

1 本体への表示内容

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがある事を注意喚起するために、以下の内容の表示をウォシュレット本体に行っています。

- 製造年(便ふたの裏面などに西暦4桁で表示しています。)
- 注意表記(便ふたの裏面などに下記の表記を表示していません。)



2 想定安全使用期間とは

一般家庭用に設置された温水洗浄便座において、標準的な使用条件の下で、適正な取り扱いで使用し、適正な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用できる期間として、想定される期間です。無料保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

※一般家庭用以外(事務所、病院等、不特定多数の方が使用される場所)に設置された場合は、使用条件により、想定安全使用期間よりも早い時期に劣化するおそれがあります。

3 標準的な使用条件

環境条件	電圧・周波数	AC100V 50/60Hz	機器の定格電圧 / 周波数による
	温度	20℃	JIS A4422 規格票による
	給水温度・給水圧	15℃ 0.2MPa	JIS A4422 規格票による
負荷条件	定格負荷	製品仕様による標準設置状態	—
想定条件	4人家族(男性2人、女性2人)において、大便:1回/日・人、小便男性:4回/日・人、小便女性:4回/日・人の使用回数で、一回ごとの洗浄便座機能の使用時間をそれぞれ15秒間とする		JIS A4422 規格票による
取扱維持管理	取扱説明書に記載された通常の使用方法、お手入れ、点検・修理が行われている		

4 経年劣化とは

長期間にわたる使用や処置に伴い生じる劣化をいいます。

ご愛用者登録のお願い

未永くご愛用いただくためにお客様情報の登録をお願いいたします。

ご登録いただいたお客様情報は製品安全に関する大切なお知らせや、暮らしに役立つ情報の提供に使用させていただきます。なお、お客様の個人情報は当社プライバシーポリシーに基づいて適切に管理、取り扱いさせていただきます。詳細はTOTOホームページをご覧ください。

登録のしかた

※複数台登録が可能です。



※表示位置は、機種により異なります。

スマートフォン・タブレット端末で登録される場合は、商品からアクセスし、画面の案内に従って登録してください。詳しくは、TOTOホームページにアクセスし、お客様サポートの「製品のご登録」をご確認ください。※通信料はお客様負担となります。

パソコンで登録される場合は、TOTO ホームページにアクセスし、お客様サポートの「製品のご登録」より画面の案内に従って登録してください。

TOTOホームページ
<https://jp.toto.com>

登録に関するお問い合わせは、
TOTO(株)ご愛用者登録相談室へお願いします。
TEL ☎ 0120-55-1172
受付時間: 平日9:00~17:00
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

定期的な点検

MEMO

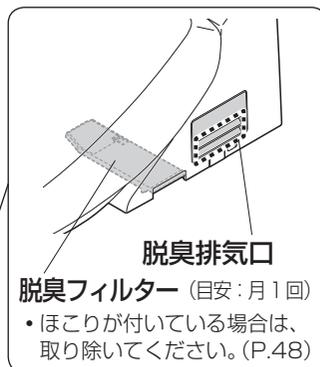
製品の長期間の使用に伴い生ずる劣化（経年劣化）により、安全上支障が生じるおそれがあります。経年劣化による重大事故（火災、感電、やけど、けが、水漏れなど）を防止し、製品をより長く、安全・快適にお使いいただくために、お客さま自身による以下の点検を年1回以上実施いただきますようお願いいたします。不具合があったときは、お求めの取付店・販売店または TOTO メンテナンス（株）修理受付センターへご連絡ください。

ウォシュレット本体

- ひび割れ・欠け・ガタツキ・変色がありませんか？
- 異常に熱かったり、異常音・異臭がありませんか？
- 水漏れがありませんか？
- 正常に作動していますか？

便ふた

- ひび割れ・欠け・ガタツキ・変色がありませんか？
- 正常に作動していますか？



止水栓

- 水漏れがありませんか？
- 傷み・はさみ込み・つぶれ・折れ曲がりはありませんか？

電源プラグ (目安: 月1回)

- ほこりが付いている場合は、取り除いてください。(P.44)
- 異常に熱かったり、異常音・異臭がありませんか？

便座

- ひび割れ・欠け・ガタツキ・変色がありませんか？
- 異常に熱かったり、異常音・異臭がありませんか？
- 正常に作動していますか？
- 便座クッションがはずれている場合は、ご購入ください。(P.60)

電源コード

- 傷み・はさみ込み・つぶれ・折れ曲がりはありませんか？
- 異常に熱かったり、異常音・異臭がありませんか？

給水ホース

- 電源プラグに接触していませんか？
- 傷み・はさみ込み・つぶれ・折れ曲がりはありませんか？
- 水漏れがありませんか？

点検箇所	実施日 (年・月・日)		
ウォシュレット本体	/ /	/ /	/ /
止水栓	/ /	/ /	/ /
電源プラグ	/ /	/ /	/ /
電源コード	/ /	/ /	/ /
給水ホース	/ /	/ /	/ /

点検箇所	実施日 (年・月・日)		
便ふた	/ /	/ /	/ /
脱臭フィルター	/ /	/ /	/ /
脱臭排気口	/ /	/ /	/ /
便座	/ /	/ /	/ /